名古屋市における精神保健福祉

―― 資 料 集 ――

―― 2026 ――

名　古　屋　市

「名古屋市における精神保健福祉-資料集-2026」　正誤表

「名古屋市における精神保健福祉-資料集-2026」の一部に誤りがありましたので、以下のとおり訂正いたします。

（※令和8年11月4日付修正）

頁	項目	誤		**正**	
		回数	延人員	回数	延人員
61	表3-54　人材育成	106	1,820	**112**	**1,847**

目　　次

１　精神医療

表１－　１　精神病床等の状況の推移 ―― 1
表１－　２　入院形態別入院患者の推移 ―― 1
表１－　３　年代別・入院期間別在院患者数 ―― 2
表１－　４　入院形態別・入院期間別在院患者数 ―― 2
表１－　５　年代別在院患者数の推移 ―― 3
表１－　６　入院期間別在院患者数の推移 ―― 3
表１－　７　病名別・入院形態別在院患者数 ―― 4
表１－　８　病名別・年代別在院患者数 ―― 5
表１－　９　病名別在院患者数の推移 ―― 6
表１－１０　市長同意書交付件数 ―― 7
表１－１１　市長同意書交付件数の推移 ―― 7
表１－１２　措置診察のための申請・通報・届出件数の推移 ―― 7
表１－１３　措置状況 ―― 8
表１－１４　病名別・年齢別措置入院該当者数の状況 ―― 9
表１－１５　措置入院該当者数の推移 ―― 9
表１－１６　入院措置の解除の状況 ―― 9
表１－１７　入院措置の解除後の状況 ―― 10
表１－１８　年度末現在の措置入院者数の推移 ―― 10
表１－１９　移送件数の状況 ―― 10
表１－２０　移送件数の推移 ―― 10
表１－２１　応急入院の届出の状況 ―― 10
表１－２２　応急入院の届出の推移 ―― 10
表１－２３　医療保護入院の届出・定期の病状報告の状況 ―― 11
表１－２４　退院請求・処遇改善請求の状況 ―― 11
表１－２５　退院請求・処遇改善請求の推移 ―― 12
表１－２６　実地審査の状況 ―― 12
表１－２７　実地審査の推移 ―― 12
表１－２８　実地指導の状況 ―― 12
表１－２９　実地指導の推移 ―― 12
表１－３０　精神科病院における業務従事者による障害者虐待の状況（法第 40 条の 7） ―― 13
表１－３１　精神科病院における業務従事者による障害者虐待があった場合に採った措置（法第 40 条の 7） ―― 13
表１－３２　精神科病院における虐待を行った業務従事者の職種（規則第 22 条の 2 の 2） ―― 13
表１－３３　名古屋市入院者訪問支援事業（法第35条の2） ―― 14
表１－３４　自立支援医療（精神通院）受給者証交付件数 ―― 14
表１－３５　病名別の自立支援医療（精神通院）受給者証所持者の状況 ―― 14

表１－３６　区別の自立支援医療(精神通院)受給者所持者の状況 ----------15
表１－３７　年代別の自立支援医療（精神通院）受給者証所持者の状況 ----------15
表１－３８　自己負担区分別の自立支援医療（精神通院）受給者証所持者の状況 ----------16
表１－３９　年度末現在の自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数の推移 ----------16

２　精神障害者福祉

表２－　１　精神障害者保健福祉手帳交付件数 ----------17
表２－　２　区別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の状況 ----------17
表２－　３　等級別・年代別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の状況 ----------17
表２－　４　病名別・等級別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の状況 ----------18
表２－　５　病名別・年代別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の状況 ----------18
表２－　６　年度末現在の精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移 ----------19
表２－　７　精神障害者福祉特別乗車券交付状況 ----------19
表２－　８　精神障害者福祉特別乗車券交付状況の推移 ----------19
表２－　９　重度精神障害者タクシー利用券交付状況 ----------19
表２－１０　重度精神障害者タクシー利用券交付状況の推移 ----------19
表２－１１　精神障害者市営住宅福祉向募集入居状況 ----------20
表２－１２　精神障害者市営住宅福祉向募集入居状況の推移 ----------20
表２－１３　日常生活用具給付件数 ----------20
表２－１４　日常生活用具給付件数の推移 ----------20
表２－１５　障害者自立支援配食サービス利用者数 ----------21
表２－１６　障害者自立支援配食サービス利用者数の推移 ----------21

３　地域精神保健福祉

（１）保健センター事業

表３－　１　保健センター精神保健福祉事業概要一覧 ----------22
表３－　２　相談・訪問援助実人員等 ----------38
表３－　３　実人員の推移 ----------38
表３－　４　精神保健福祉相談件数（職種別） ----------39
表３－　５　精神保健福祉相談件数（分類別） ----------40
表３－　６　精神保健福祉電話相談件数(職種別) ----------41
表３－　７　精神保健福祉電話相談件数（分類別） ----------42
表３－　８　精神保健福祉訪問援助件数（職種別） ----------43
表３－　９　精神保健福祉訪問援助件数（分類別） ----------44
表３－１０　精神保健福祉メール相談件数（分類別）----------45
表３－１１　精神保健福祉相談・訪問援助延件数の推移 ----------45
表３－１２　こころの健康相談日の状況 ----------46
表３－１３　こころの健康相談日の推移 ----------46
表３－１４　精神保健福祉相談件数（再掲　ひきこもり） ----------47

表３－１５　精神保健福祉相談件数（再掲　ひきこもり）の推移 ――――――――――――――――47
表３－１６　精神保健福祉相談件数（再掲　自殺関連） ――――――――――――――――――――48
表３－１７　精神保健福祉相談件数（再掲　自殺関連）の推移 ――――――――――――――――48
表３－１８　精神保健福祉相談件数（再掲　自死遺族） ――――――――――――――――――――49
表３－１９　精神保健福祉相談件数（再掲　自死遺族）の推移 ――――――――――――――――49
表３－２０　精神保健福祉相談件数（再掲　犯罪被害） ――――――――――――――――――――50
表３－２１　精神保健福祉相談件数（再掲　犯罪被害）の推移 ――――――――――――――――50
表３－２２　精神保健福祉相談件数（再掲　災害） ――――――――――――――――――――――51
表３－２３　精神保健福祉相談件数（再掲　災害）の推移 ――――――――――――――――――51
表３－２４　精神保健福祉相談件数（再掲　発達障害）――――――――――――――――――――52
表３－２５　精神保健福祉相談件数（再掲　発達障害）の推移 ――――――――――――――――52
表３－２６　普及啓発の状況 ――――――――――――――――――――――――――――――――53
表３－２７　普及啓発の推移 ――――――――――――――――――――――――――――――――53
表３－２８　組織育成の状況 ――――――――――――――――――――――――――――――――54
表３－２９　組織育成の推移 ――――――――――――――――――――――――――――――――54
表３－３０　連絡調整に関する会議 ――――――――――――――――――――――――――――――55
表３－３１　連絡調整に関する会議の推移――――――――――――――――――――――――――――56
表３－３２　精神保健福祉事例検討会の状況――――――――――――――――――――――――――56
表３－３３　精神保健福祉業務研究会の状況――――――――――――――――――――――――――57

（２）精神保健福祉センターここらぼ

表３－３４　一般電話相談 ――――――――――――――――――――――――――――――――――58
表３－３５　一般電話相談の推移 ――――――――――――――――――――――――――――――58
表３－３６　来所相談 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――58
表３－３７　来所相談の推移 ――――――――――――――――――――――――――――――――58
表３－３８　文書相談 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――58
表３－３９　文書相談の推移 ――――――――――――――――――――――――――――――――58
表３－４０　一般予約相談 ――――――――――――――――――――――――――――――――――58
表３－４１　一般予約相談の推移 ――――――――――――――――――――――――――――――59
表３－４２　依存症相談窓口専用電話 ――――――――――――――――――――――――――――59
表３－４３　依存症相談窓口専用電話の推移 ――――――――――――――――――――――――59
表３－４４　特定相談 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――59
表３－４５　特定相談の推移 ――――――――――――――――――――――――――――――――60
表３－４６　こころの健康電話相談 ――――――――――――――――――――――――――――60
表３－４７　こころの健康電話相談の推移 ――――――――――――――――――――――――60
表３－４８　家族教室　（家族のつどい含む）――――――――――――――――――――――――60
表３－４９　家族教室の推移　（家族のつどい含む）――――――――――――――――――――60
表３－５０　普及啓発 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――60
表３－５１　普及啓発の推移 ――――――――――――――――――――――――――――――――61
表３－５２　組織育成 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――61
表３－５３　組織育成の推移 ――――――――――――――――――――――――――――――――61

表３－５４　人材育成 ----------61
表３－５５　人材育成の推移 ----------61
表３－５６　技術指導・技術援助 ----------61
表３－５７　技術指導・技術援助の推移 ----------61
表３－５８　集団精神療法（なごやギャンブル障害トレーニングプログラム「NAT-G」）----------62
表３－５９　集団精神療法（なごやギャンブル障害トレーニングプログラム「NAT-G」）の推移 ---62
表３－６０　ひきこもり地域支援センター相談 ----------62
表３－６１　ひきこもり地域支援センター相談の推移 ----------62
表３－６２　ひきこもり地域支援センター居場所利用 ----------62
表３－６３　ひきこもり地域支援センター居場所利用の推移 ----------63

（３）地域包括ケアシステムの構築

表３－６４　措置入院者の退院後支援に係る状況 ----------64
表３－６５　措置入院者の退院後支援対象者の状況 ----------64
表３－６６　名古屋市精神障害者支援地域ブロック調整会議開催状況 ----------65
表３－６７　ブロックの取り組み ----------66
表３－６８　名古屋市精神障害者支援地域ブロック調整会議合同報告会 ----------66
表３－６９　名古屋市精神障害者支援地域調整会議開催状況 ----------67
表３－７０　名古屋市精神障害者支援地域調整会議開催状況推移 ----------67
表３－７１　名古屋市精神障害者ピアサポーター活用事業 ----------68
表３－７２　ピアサポーター派遣先数・実績数推移 ----------68
表３－７３　精神障害者ピアサポーター養成研修開催状況推移 ----------69
表３－７４　精神障害者ピアサポーター養成研修修了者フォローアップ ----------69
表３－７５　家族ピア相談事業実績 ----------69
表３－７６　精神障害者家族交流事業実績 ----------69
表３－７７　精神疾患の基礎講座 ----------69
表３－７８　家族 SST 講座 ----------70
表３－７９　名古屋市精神障害者社会資源見学事業 ----------70
表３－８０　精神障害者地域移行・地域定着支援推進研修開催状況推移 ----------70
表３－８１　地域密着企画 ----------71
表３－８２　心のサポーター養成研修事業実績 ----------77
表３－８３　保健医療型アウトリーチ支援モデル事業 ----------77
表３－８４　居住体験支援モデル事業 ----------78

４　依存症対策

表４－　１　依存症相談窓口専用電話 ----------79
表４－　２　依存症相談窓口専用電話の推移 ----------79
表４－　３　特定相談----------79
表４－　４　特定相談推移 ----------79
表４－　５　集団精神療法（なごやギャンブル障害トレーニングプログラム「NAT-G」）----------79

表４－　６　集団精神療法（なごやギャンブル障害トレーニングプログラム「NAT-G」）の推移　---80
表４－　７　家族教室　（家族のつどい含む）----------80
表４－　８　家族教室の推移　（家族のつどい含む）----------80
表４－　９　依存症関連普及啓発　----------80
表４－１０　依存症関連普及啓発の推移　----------80
表４－１１　依存症関連組織育成　----------80
表４－１２　依存症関連組織育成の推移　----------80
表４－１３　依存症関連人材育成　----------81
表４－１４　依存症関連人材育成の推移　----------81
表４－１５　依存症治療拠点機関及び依存症専門医療機関　----------81

５　自殺対策

表５－　１　自殺者数及び自殺死亡率　【人口動態統計】----------82
表５－　２　年代別の自殺者数　【人口動態統計】----------82
表５－　３　自殺者数の推移　【人口動態統計】----------82
表５－　４　自殺の原因・動機　【警察庁統計】----------82
表５－　５　区別の自殺者の状況　【警察庁統計】----------82

６　附属機関及び各種会議

表６－　１　精神保健福祉審議会の状況　----------83
表６－　２　精神医療審査会の状況　----------83
表６－　３　自殺対策連絡協議会の状況----------83

７　その他

表７－　１　名古屋市精神保健福祉行政のあゆみ　----------84

1 精神医療

表1－1 精神病床等の状況の推移

区　　分	3	4	5	6	7
精神科病院数(年度末現在)	16	16	16	16	16
指定病院数(年度末現在)	10	10	10	9	9
応急入院指定病院数(年度末現在)	6	7	7	7	7
精神病床数(年度末現在)	4,419	4,399	4,362	4,308	4,127
指定病床数	250	270	270	250	250
1日平均在院者数[単位:人]	3,595.2	3,516.0	3,443.6	3,314.8	3192.2
精神病床利用率[単位:%]	80.9	79.4	78.6	76.7	76.0
平均在院日数[単位:日]	239.3	235.0	214.6	200.8	186.9

$$1日平均在院者数 = \frac{各年度年間在院患者延数}{各年度年間日数}$$

$$精神病床利用率 = \frac{各年度在院患者延数}{各年度精神病床延数} \times 100$$

$$平均在院日数 = \frac{各年度年間在院患者延数}{(各年度年間新入院患者数＋各年度年間退院患者数)\times 1/2}$$

表1－2 入院形態別入院患者の推移　　(毎年6月30日現在)

区　　分	3	4	5	6	7
措置入院患者数	42	43	48	20	26
医療保護入院患者数	1,595	1,607	1,568	1,383	1,165
任意入院患者数	1,954	1,875	1,831	1,924	2,028
その他の入院患者数	47	46	43	43	40
合　　計	3,638	3,571	3,490	3,370	3,259

表1－3 年代別・入院期間別在院患者数 （令和 7 年 6 月 30 日現在）

区　分	1 カ月未満	1 カ月以上 3 カ月未満	3 カ月以上 6 カ月未満	6 カ月以上 1 年未満	1 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上	合　計
20 歳未満	17	17	4	4	0	0	0	0	42
20 歳以上 40 歳未満	98	68	27	26	53	23	6	0	301
40 歳以上 65 歳未満	139	156	105	105	341	174	174	74	1,268
65 歳以上 75 歳未満	43	73	37	56	198	81	105	63	656
75 歳以上	101	147	80	92	265	132	93	82	992
合　計	398	461	253	283	857	410	378	219	3,259

表1－4 入院形態別・入院期間別在院患者数 （令和 7 年 6 月 30 日現在）

区　分	1 カ月未満	1 カ月以上 3 カ月未満	3 カ月以上 6 カ月未満	6 カ月以上 1 年未満	1 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 20 年未満	20 年以上	合　計
措置入院	9	7	3	2	0	1	3	1	26
医療保護入院	173	218	102	99	277	118	109	69	1,165
任意入院	214	232	144	177	556	290	266	149	2,028
その他の入院	2	4	4	5	24	1	0	0	40
合　計	398	461	253	283	857	410	378	219	3,259

表1－5 年代別在院患者数の推移　　（毎年 6 月 30 日現在）

区　分	3	4	5	6	7
20歳未満	42	43	45	53	42
20歳以上40歳未満	286	298	300	271	301
40歳以上65歳未満	1,491	1,406	1,395	1,301	1,268
65歳以上75歳未満	913	876	854	748	656
75歳以上	906	948	896	997	992
合　計	3,638	3,571	3,490	3,370	3,259

表1－6 入院期間別在院患者数の推移　　（毎年 6 月 30 日現在）

区　分	3	4	5	6	7
1 カ月未満	383	348	421	393	398
1 カ月以上 3 カ月未満	387	412	442	476	461
3 カ月以上 6 カ月未満	246	222	265	243	253
6 カ月以上 1 年未満	307	336	262	300	283
1 年以上 5 年未満	985	981	923	864	857
5 年以上 10 年未満	491	468	475	464	410
10 年以上 20 年未満	461	471	433	392	378
20 年以上	378	333	269	238	219
不明	0	0	0	0	0
合　計	3,638	3,571	3,490	3,370	3,259

表1－7 病名別・入院形態別在院患者数　　（令和 7 年 6 月 30 日現在）

病　　名	総 数	措置入院	医療保護入院	任意入院	その他の入院
F0　症状性を含む器質性精神障害	691	1	281	409	0
（F00 アルツハイマー病型認知症）	(258)	(0)	(103)	(155)	(0)
（F01 血管性認知症）	(37)	(0)	(11)	(26)	(0)
（F02－09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害）	(396)	(1)	(167)	(228)	(0)
F1　精神作用物質による精神及び行動の障害	111	1	22	87	1
（F10 アルコール使用による精神及び行動の障害）	(90)	(0)	(17)	(72)	(1)
（覚せい剤による精神及び行動の障害）	(11)	(1)	(1)	(9)	(0)
（アルコール、覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害）	(10)	(0)	(4)	(6)	(0)
F2　統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	1,796	17	650	1,091	38
F3　気分（感情）障害	379	3	100	276	0
F4　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	70	0	19	51	0
F5　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	11	0	4	7	0
F6　成人のパーソナリティ及び行動の障害	11	0	3	8	0
F7　精神遅滞〔知的障害〕	75	0	42	33	0
F8　心理的発達の障害	70	3	27	39	1
F9　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	9	0	4	5	0
G40　てんかん（F0に属さないものを計上）	15	0	6	9	0
その他	21	1	7	13	0
合　　計	3,259	26	1,165	2,028	40

表1－8 病名別・年代別在院患者数　　（令和 7 年 6 月 30 日現在）

病　　名	総 数	20歳未満	20歳以上 40歳未満	40歳以上 65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳 以上
F0　症状性を含む器質性精神障害	691	0	6	95	113	477
（F00 アルツハイマー病型認知症）	(258)	(0)	(0)	(7)	(26)	(225)
（F01 血管性認知症）	(37)	(0)	(0)	(2)	(9)	(26)
（F02－09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害）	(396)	(0)	(6)	(86)	(78)	(226)
F1　精神作用物質による精神及び行動の障害	111	0	6	53	34	18
（F10 アルコール使用による精神及び行動の障害）	(90)	(0)	(4)	(36)	(33)	(17)
（覚せい剤による精神及び行動の障害）	(11)	(0)	(1)	(8)	(1)	(1)
（アルコール、覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害）	(10)	(0)	(1)	(9)	(0)	(0)
F2　統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	1,796	7	132	886	391	380
F3　気分（感情）障害	379	13	61	123	84	98
F4　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	70	5	19	29	9	8
F5　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	11	4	6	1	0	0
F6　成人のパーソナリティ及び行動の障害	11	0	4	5	1	1
F7　精神遅滞〔知的障害〕	75	1	26	33	12	3
F8　心理的発達の障害	70	8	31	28	2	1
F9　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	9	4	3	1	0	1
G40　てんかん（F0に属さないものを計上）	15	0	6	3	5	1
その他	21	0	1	11	5	4
合　　計	3,259	42	301	1,268	656	992

表1－9 病名別在院患者数の推移　　（毎年 6 月 30 日現在）

病　　名	3	4	5	6	7
F0　症状性を含む器質性精神障害	623	617	615	652	691
（F00 アルツハイマー病型認知症）	(221)	(230)	(270)	(260)	(258)
（F01 血管性認知症）	(56)	(49)	(47)	(41)	(37)
（F02－09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害）	(346)	(338)	(298)	(351)	(396)
F1　精神作用物質による精神及び行動の障害	158	158	170	139	111
（F10 アルコール使用による精神及び行動の障害）	(129)	(129)	(141)	(115)	(90)
（覚せい剤による精神及び行動の障害）	(16)	(15)	(21)	(16)	(11)
（アルコール、覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害）	(13)	(14)	(8)	(8)	(10)
F2　統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	2,281	2,187	2,068	1,960	1,796
F3　気分（感情）障害	346	356	381	390	379
F4　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	74	69	74	61	70
F5　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	13	12	6	7	11
F6　成人のパーソナリティ及び行動の障害	12	10	7	9	11
F7　精神遅滞〔知的障害〕	34	37	61	70	75
F8　心理的発達の障害	59	68	58	54	70
F9　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	7	5	7	7	9
G40　てんかん（F0に属さないものを計上）	17	17	21	12	15
その他	14	14	31	31	21
不明	0	0	0	0	0
合　　計	3,638	3,638	3,571	3,490	3,259

表1－10 市長同意書交付件数 （令和7年度）

区 分	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市長同意件数	16	8	17	7	22	7	10	10	6	12	18	33	19	17	17	21	240
市長同意更新件数	16	3	11	11	12	8	2	5	10	16	25	27	31	5	22	16	220

表1－11 市長同意書交付件数の推移

年度	3	4	5	6	7
市長同意件数	169	207	226	255	240
市長同意更新件数	－	－	－	133	220

※市長同意（医療保護入院）の更新手続きは令和6年度より開始

表1－12 措置診察のための申請・通報・届出件数の推移

年度	一般人 (22条)	警察官 (23条)	検察官 (24条)	保護観察所の長 (25条)	矯正施設の長 (26条)	精神科病院の管理者 (26条の2)	指定通院医療機関の管理者等 (26条の3)	その他 (27条2項)	合計
3	0	412	61	0	96	0	0	2	571
4	0	421	44	0	116	0	0	6	587
5	0	465	45	1	129	0	0	3	643
6	0	397	45	1	149	0	0	2	594
7	2	391	26	0	153	0	0	3	575

表1－13 措置状況　　（令和７年度）

区分		申請・通報・届出件数	診察を受けた者					緊急措置入院の状況			措置入院者計
			精神障害者			精神障害者でなかった者	計	診察を受けた者	緊急措置入院者数	その後診察の結果措置入院となった者	
			法29条該当症状の者		法２９条該当症状でなかった者						
			措置入院者 A	措置入院としなかった者 B						C	A＋C
申請	一般人（法22条）	2	1	0	0	0	1	0	0	0	1
通報	警察官（法23条）	391	14	0	2	0	16	105	93	59	73
通報	検察官（法24条）	26	14	0	4	3	21	0	0	0	14
通報	保護観察所の長（法25条）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通報	矯正施設の長（法26条）	153	0	0	0	0	0	0	0	0	0
届出	精神科病院の管理者（法26条の2）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通報	指定通院医療機関の管理者 保護観察所の長（法26条の3）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他（法27条2項）		3	0	0	0	0	0	3	3	2	2
合計		575	29	0	6	3	38	108	96	61	90

※「措置入院者 A」には、緊急措置入院者で「その後診察の結果措置入院となった者 C」は含めていない。

表1－14　病名別･年齢別措置入院該当者数の状況　（令和 7 年度）

病名	総数	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上75歳未満	75歳以上	不明
F0　症状性を含む器質性精神障害	5	0	0	0	2	3	0
（F00　アルツハイマー病型認知症）	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)
（F01　血管性認知症）	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
（F02-09　上記以外の症状性を含む器質性精神障害）	(3)	(0)	(0)	(0)	(2)	(1)	(0)
F1　精神作用物質による精神及び行動の障害	5	0	1	3	1	0	0
（F10　アルコール使用による精神及び行動の障害）	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)
（覚せい剤による精神及び行動の障害）	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)
（アルコール、覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害）	(3)	(0)	(1)	(2)	(0)	(0)	(0)
F2　統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	49	2	15	28	3	1	0
F3　気分(感情)障害	24	2	8	13	1	0	0
F4　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2	1	1	0	0	0	0
F5　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	0	0	0	0	0	0	0
F6　成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	1	0	0	0	0	0
F7　精神遅滞〔知的障害〕	2	0	1	1	0	0	0
F8　心理的発達の障害	2	0	2	0	0	0	0
F9　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	0	0	0	0	0
G40　てんかん(F0 に属さないものを計上)	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合　計	90	6	28	45	7	4	0

表1－15　措置入院該当者数の推移

年度	3	4	5	6	7
措置入院該当者数	68	95	88	88	90

表1－16　入院措置の解除の状況　（令和 7 年度）

区分		件数
精神保健指定医の診察の結果によるもの	法 29 条の 5(症状消退届)	90
	法 38 条の 6(実地審査)	0
精神医療審査会の審査の結果によるもの	法 38 条の 3(定期の報告等)	0
	法 38 条の 5(退院の請求)	1
心神喪失者等医療観察法に基づく入院への移行によるもの		0
死亡によるもの		0
その他		0
合　計		91

表1－17 入院措置の解除後の状況 （令和 7 年度）

区分		件数
入院継続	心神喪失者等医療観察法に基づく入院	0
	医療保護入院	21
	任意入院	38
通院医療		31
その他		1
合計		91

表1－18 年度末現在の措置入院者数の推移

年度	3	4	5	6	7
措置入院者数	27	29	14	17	16

表1－19 移送件数の状況 （令和 7 年度）

区分	移送件数
措置診察のための移送(法 27 条)	2
措置入院のための移送(法 29 条の 2 の 2)	4
医療保護入院のための移送(法 34 条)	0

表1－20 移送件数の推移

区分	3	4	5	6	7
措置診察のための移送（法 27 条）	0	4	3	2	2
措置入院のための移送（法 29 条の 2 の 2）	3	7	5	1	4
医療保護入院のための移送（法 34 条）	0	0	0	0	0

表1－21 応急入院の届出の状況 （令和 7 年度）

区分	件数
応急入院の届出(法 33 条の 7)	162

表1－22 応急入院の届出の推移

年度	3	4	5	6	7
応急入院の届出	74	92	125	135	162

表1－23　医療保護入院の届出・定期の病状報告の状況　（令和７年度）

区　分	今年度届出等件数	今年度分の審査件数（a）	前期繰越審査件数（b）	審査結果						審査中（次年度へ繰越）件数(a)
				入院等は適当	他の入院形態への移行が適当	報告を求めることが適当	入院継続不要	処遇は不適当	計（c）	
措置入院決定報告書	92	92	0	90	1	0	0	0	91	1
		（3）								
医療保護入院者の入院届	2,800	2,800	19	2,797	0	0	2	0	2,799	20
		（162）								
医療保護入院者の入院期間更新届	2,090	2,090	7	2,093	0	0	0	0	2,093	4
		（74）								
措置入院者の定期病状報告	28	28	1	29	0	0	0	0	29	0
		（0）								
任意入院者の定期病状報告	259	259	5	262	0	0	1	0	263	1
		（34）								
合　計	5,269	5,269	32	5,271	1	0	3	0	5,275	26
		（273）								

※　(a)+(b)=(c)+(d)。

※　（　）内は再審査を要した件数。

表1－24　退院請求・処遇改善請求の状況　（令和７年度）

区　分		請求件数	審査件数	審査結果						取下	要件消失	審査中（次年度継続）
				入院等は適当	他の入院形態への移行が適当	一定期間内に他の入院形態への移行が適当	入院継続不要	処遇は不適当	計			
退院の請求	措置入院者	19	8	7	1	0	0	0	8	3	6	3
	医療保護入院者	98	51	48	2	1	0	0	51	29	14	11
	任意入院者	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
	小　計	119	59	55	3	1	0	0	59	34	20	14
処遇改善請求	措置入院者	10	6	6	0	0	0	0	6	3	1	1
	医療保護入院者	63	34	33	0	0	0	1	33	19	9	6
	任意入院者	11	4	1	0	0	0	3	4	3	3	1
	小　計	84	44	40	0	0	0	4	43	25	13	8
合　計		203	103	95	3	1	0	4	102	59	33	22

※　「審査件数」「審査結果」「取下」「要件消失」欄には、前年度「審査中」の件数を含む。

表1－25 退院請求･処遇改善請求の推移

区 分	3	4	5	6	7
退院の請求	86	106	82	81	119
処遇改善請求	24	35	45	46	83
合 計	110	141	127	127	202

表1－26 実地審査の状況 （令和 7 年度）

区 分	実地審査件数
措置入院者	17
医療保護入院者	28
任意入院者	0
その他の入院者	0
合 計	45

表1－27 実地審査の推移

区 分	3	4	5	6	7
措置入院者	19	29	20	8	17
医療保護入院者	30	26	30	29	28
任意入院者	0	0	0	2	0
その他の入院者	0	0	0	0	0
合 計	49	55	50	39	45

表1－28 実地指導の状況 （法 38 条の 6） （令和 7 年度）

区 分		実地指導件数
実地指導 （法 38 条の 6）	定 期	15
	臨 時	2
	合 計	17

表1－29 実地指導の推移 （法 38 条の 6）

区 分		3	4	5	6	7
実地指導 （法 38 条の 6）	15	15	15	15	15	15
	0	1	1	1	1	2
	15	16	16	16	16	17

表1－30　精神科病院における業務従事者による障害者虐待の状況（法第 40 条の7）　　（令和 7 年度）

（1）業務従事者による障害者虐待を受けたと思われる精神障害者を発見した者による都道府県等への通報・相談件数			57	件
（2）業務従事者による障害者虐待を受けた精神障害者による都道府県等への届出・相談件数			189	件
（3）虐待の事実を認定した件数			10	件
（4）認定した虐待の事実に係る被虐待者数	①	男性	4	人
	②	女性	5	人
	③	不明、その他	1	人
		小計	10	人
（5）認定した虐待の種別・類型ごとの件数（重複可）	①	身体的虐待	4	件
	②	心理的虐待	6	件
	③	性的虐待	1	件
	④	放棄、放置（ネグレクト）	0	件
	⑤	経済的虐待	1	件

表1－31　精神科病院における業務従事者による障害者虐待があった場合に採った措置（法第 40 条の7）

（1）	業務従事者による障害者虐待についての通報や届出に関して、報告徴収を行った件数		10
（2）	診療録や帳簿書類の提出・提示を命じた件数		2
（3）	職員又は指定医により、診療録や帳簿書類を検査した件数		3
（4）	職員又は指定医により、入院患者や関係者に質問を行った件数		2
（5）	指定医により、入院患者の診察を行った件数		1
（6）	改善計画の提出を求めた件数		10
（7）	提出された改善計画の変更を命じた件数		0
（8）	①	必要な措置を採ることを命じた件数	0
	②	①に関する具体的な内容	0
（9）	（8）の命令に従わなかった病院のうち、その旨を公表した件数		0
（10）	入院に係る医療提供の全部又は一部の制限を命じるとともに公示を行った件数		0

表1－32　精神科病院における虐待を行った業務従事者の職種（規則第 22 条の2の2）

※表1－30（4）の認定した虐待の事実に係る被虐待者に虐待を行った業務従事者の主たる職種ごとの人数

（1）	医師	2	（7）	精神保健福祉士	0
（2）	看護師	5	（8）	社会福祉士	0
（3）	准看護師	3	（9）	公認心理師	0
（4）	看護助手	0	（10）	医療事務	0
（5）	保健師	0	（11）	その他業務従事者	0
（6）	作業療法士	0	（12）	不明	0
小計					10

表1－33　名古屋市入院者訪問支援事業（法第35条の2）

区　　分			7年度
名古屋市入院者訪問支援員選任数			44 人
訪問支援対象者数(実人員)			17 人
入院形態	医療保護入院	市長同意	4 人
		家族同意	9 人
	任意入院		4 人
	措置入院		0 人
訪問支援回数(延べ人員)			18 回

※令和 7 年 10 月から事業開始

表1－34　自立支援医療(精神通院)受給者証交付件数　　(令和 7 年度)

新規交付	再認定交付	市外からの住所変更による交付	合　　計
13,036	50,703	1,457	65,196

表1－35　病名別の自立支援医療(精神通院)受給者証所持者の状況　　(令和 7 年度末現在)

病　　名	受給者証所持者
F0　症状性を含む器質性精神障害	1,801
F1　精神作用物質による精神及び行動の障害	816
F2　統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	7,923
F3　気分(感情)障害	34,775
F4　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	7,458
F5　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	263
F6　成人のパーソナリティ及び行動の障害	220
F7　精神遅滞〔知的障害〕	352
F8　心理的発達の障害	4,371
F9　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	2,841
G40　てんかん(F0に属さないものを計上)	2,515
その他・不明	115
合　　計	63,450

表1－36 区別の自立支援医療(精神通院)受給者所持者の状況　（令和7度末現在）

病名	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂
F0 症状性を含む器質性精神障害	106	48	152	101	104	64	69	87
F1 精神作用物質による精神及び行動の障害	60	20	67	45	49	26	28	26
F2 統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	580	209	636	456	563	232	305	311
F3 気分(感情)障害	2,284	1,218	2,800	2,454	2,572	1,734	1,472	1,717
F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	400	237	579	668	565	322	307	251
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	10	10	16	19	16	18	15	9
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	20	11	20	18	17	11	4	9
F7 精神遅滞〔知的障害〕	20	6	21	16	30	5	7	11
F8 心理的発達の障害	315	121	320	398	246	177	199	215
F9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	211	104	201	186	227	225	141	125
G40 てんかん(F0に属さないものを計上)	139	78	235	174	185	110	108	107
不明(年金証書等により取得)	11	11	8	17	4	1	3	2
合計	4,156	2,073	5,055	4,552	4,578	2,925	2,658	2,870

病名	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
F0 症状性を含む器質性精神障害	59	216	135	93	147	161	107	152
F1 精神作用物質による精神及び行動の障害	29	100	47	50	60	47	90	72
F2 統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	206	879	507	477	640	740	639	543
F3 気分(感情)障害	1,022	3,456	2,151	2,031	1,960	3,313	2,185	2,406
F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	197	728	497	492	421	882	422	490
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	6	21	18	23	17	30	13	22
F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害	3	19	17	14	17	15	13	12
F7 精神遅滞〔知的障害〕	17	57	38	32	26	20	21	25
F8 心理的発達の障害	135	378	227	263	305	435	310	327
F9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	91	247	166	122	175	217	201	202
G40 てんかん(F0に属さないものを計上)	71	275	168	146	174	264	145	136
不明(年金証書等により取得)	3	15	10	2	10	6	5	7
合計	1,839	6,391	3,981	3,745	3,952	6,130	4,151	4,394

表1－37 年代別の自立支援医療(精神通院)受給者証所持者の状況　（令和7年度末現在）

20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上	合計
1,303	20,639	33,064	8,444	63,450

表1－38 自己負担区分別の自立支援医療(精神通院)受給者証所持者の状況　　(令和7年度末現在)

<table>
<tr><td>生活保護</td><td>低所得①</td><td>低所得②</td><td>中間所得①</td><td>中間所得②</td><td>一定所得以上</td><td rowspan="2">合計</td></tr>
<tr><td>負担額
0円</td><td>上限額
2,500円</td><td>上限額
5,000円</td><td colspan="2">上限額
医療保険の自己負担限度額</td><td>公費負担
対象外</td></tr>
<tr><td rowspan="5">12,174</td><td rowspan="5">11,867</td><td rowspan="5">4,799</td><td>38</td><td>58</td><td></td><td rowspan="5">63,450</td></tr>
<tr><td colspan="3">高額治療継続者（「重度かつ継続」）</td></tr>
<tr><td>上限額
5,000円</td><td>上限額
10,000円</td><td>上限額
20,000円</td></tr>
<tr><td colspan="3">8,052</td><td>22,081</td><td>4,381</td></tr>
</table>

※ 低所得①…市民税非課税(収入≦80万円)

低所得②…市民税非課税(収入＞80万円)

中間所得①…市民税(所得割)＜3.3万円

中間所得②…3.3万円≦市民税(所得割)＜23.5万円

一定所得以上…23.5万円≦市民税(所得割)

表1－39 年度末現在の自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数の推移

年　　度	3	4	5	6	7
自立支援医療(精神通院) 受給者証所持者数	48,485	51,345	54,221	58,510	63,450

２ 精神障害者福祉

表2－1 精神障害者保健福祉手帳交付件数 （令和７年度末現在）

区　分		１ 級	２ 級	３ 級	合計
新規交付		159	1,747	2,285	4,191
更新承認		966	12,049	4,990	18,035
市外からの転入		70	730	380	1,180
転出・死亡等		239	754	376	1,369
等級変更	増	223	1,102	230	1,555
	減	76	431	1,048	1,555
有効期限切れ		60	485	349	894
年度末現在の手帳所持者数		2,194	27,375	13,785	43,354

表2－2 区別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の状況 （令和７年度末現在）

区分	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
１級	157	48	151	120	120	81	66	88	69	224	141	168	307	171	149	134	2,194
２級	1,912	802	2,102	1,664	1,743	1,020	1,085	1,143	747	2,759	1,809	1,663	2,095	2,646	2,049	2,136	27,375
３級	927	473	1,003	900	978	658	614	592	453	1,316	872	847	861	1,263	990	1,038	13,785
合計	2,996	1,323	3,256	2,684	2,841	1,759	1,765	1,823	1,269	4,299	2,822	2,678	3,263	4,080	3,188	3,308	43,354

表2－3 等級別・年代別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の状況 （令和７年度末現在）

区分	20 歳未満	20 歳以上 40 歳未満	40 歳以上 65 歳未満	65 歳以上 75 歳未満	75 歳以上	合計
１級	24	266	842	429	633	2,194
２級	708	7,639	14,664	2,651	1,713	27,375
３級	1,293	4,758	6,634	803	297	13,785
合　計	2,025	12,663	22,140	3,883	2,643	43,354

表2－4　病名別・等級別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の状況　（令和７年度末現在）

病　　名	総数	1級	2級	3級
F0　症状性を含む器質性精神障害	1,878	555	1,014	309
（F00 アルツハイマー病型認知症）	578	282	262	34
（F01 血管性認知症）	83	31	44	8
（F02－09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害）	1,217	242	708	267
F1　精神作用物質による精神及び行動の障害	449	22	316	111
F2　統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	5,102	499	3,577	1,026
F3　気分（感情）障害	12,987	147	6,521	6,319
F4　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1,726	16	670	1,040
F5　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	74	6	46	22
F6　成人のパーソナリティ及び行動の障害	83	2	40	41
F7　精神遅滞〔知的障害〕	0	0	0	0
F8　心理的発達の障害	4,569	31	2,185	2,353
F9　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	1,626	2	512	1,112
G40　てんかん（F0に属さないものを計上）	629	203	276	150
不明（年金証書等により取得）	14,231	711	12,218	1,302
合　　計	43,354	2,194	27,375	13,785

表2－5　病名別・年代別の精神障害者保健福祉手帳所持者数の状況　（令和７年度末現在）

病　　名	総数	20歳未満	20歳以上40歳未満	40歳以上65歳未満	65歳以上75歳未満	75歳以上
F0　症状性を含む器質性精神障害	1,878	6	104	677	385	706
（F00 アルツハイマー病型認知症）	578	0	0	53	122	403
（F01 血管性認知症）	83	0	1	14	24	44
（F02－09 上記以外の症状性を含む器質性精神障害）	1,217	6	103	610	239	259
F1　精神作用物質による精神及び行動の障害	449	0	20	310	87	32
F2　統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	5,102	34	697	2,873	801	697
F3　気分（感情）障害	12,987	102	3,871	7,171	1,139	704
F4　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1,726	48	604	922	107	45
F5　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	74	5	28	39	2	0
F6　成人のパーソナリティ及び行動の障害	83	1	32	42	6	2
F7　精神遅滞〔知的障害〕	0	0	0	0	0	0
F8　心理的発達の障害	4,569	1,355	2,152	998	55	9
F9　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	1,626	380	860	371	13	2
G40　てんかん（F0に属さないものを計上）	629	44	197	303	56	29
不明（年金証書等により取得）	14,231	50	4,098	8,434	1,232	417
合　　計	43,354	2,025	12,663	22,140	3,883	2,643

表2－6 年度末現在の精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

区分	3	4	5	6	7
1 級	1,794	1,895	1,970	2,117	2,194
2 級	19,847	21,696	23,395	25,466	27,375
3 級	9,727	10,322	11,292	12,663	13,785
合 計	31,368	33,913	36,657	40,246	43,354

表2－7 精神障害者福祉特別乗車券交付状況 （令和 7 年度）

区分	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
障害者用	2,661	1,183	2,921	2,362	2,448	1,518	1,524	1,600	1,116	3,749	2,414	2,221	2,523	3,464	2,743	2,921	37,368
介護者用	1,567	618	1,702	1,258	1,264	780	780	890	638	2,321	1,506	1,193	1,561	2,081	1,549	1,674	21,382
合 計	4,228	1,801	4,623	3,620	3,712	2,298	2,304	2,490	1,754	6,070	3,920	3,414	4,084	5,545	4,292	4,595	58,750

表2－8 精神障害者福祉特別乗車券交付状況の推移

区分	3	4	5	6	7
障害者用	25,728	28,435	31,183	34,395	37,368
介護者用	15,294	16,954	18,360	19,933	21,382
合 計	41,022	45,389	49,543	54,328	58,750

表2－9 重度精神障害者タクシー利用券交付状況 （令和 7 年度）

区分	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
交付件数	42	21	46	35	34	31	26	28	26	75	34	54	56	51	41	36	636

表2－10 重度精神障害者タクシー利用券交付状況の推移

区分	3	4	5	6	7
交付件数	380	401	448	527	636

表2－11　精神障害者市営住宅福祉向募集入居状況　（令和７年度）

区分	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
申込件数	45	19	38	44	35	31	19	9	15	52	20	15	23	22	39	19	445
入居件数	0	0	0	0	1	2	1	1	1	3	3	1	0	1	2	1	17

※　入居件数は未確定値。

表2－12　精神障害者市営住宅福祉向募集入居状況の推移

区分	3	4	5	6	7
申込件数	300	303	296	313	445
入居件数	17	25	19	16	17

※　令和２年度の入居件数は未確定値。

表2－13　日常生活用具給付件数　（令和７年度）

区分	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
頭部保護帽	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3
火災警報器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
自動消火器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電磁調理器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合　計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	1	0	0	7

表2－14　日常生活用具給付件数の推移

区分	3	4	5	6	7
頭部保護帽	1	7	5	6	3
火災警報器	3	0	1	1	3
自動消火器	0	0	0	0	0
電磁調理器	1	1	1	2	1
合　計	5	8	7	9	7

表2－15 障害者自立支援配食サービス利用者数 （令和７年度）

区分	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
利用者数	56	33	54	43	41	16	33	45	21	71	43	34	62	49	59	87	747

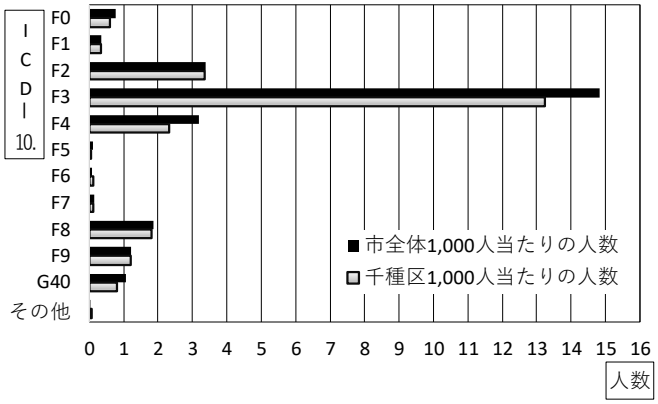
表2－16 障害者自立支援配食サービス利用者数の推移

区分	3	4	5	6	7
利用者数	693	755	821	896	747

3 地域精神保健福祉

(1)保健センター事業

表３－１　保健センター精神保健福祉事業概要一覧

<table>
<tr><th colspan="6">千　種　保　健　セ　ン　タ　ー</th></tr>
<tr><td>地区の特性</td><td colspan="5">今池を中心とした西部の商業・ビジネス地区、池下・覚王山・自由ヶ丘周辺の中部の住宅地区、大学や東山動植物園などがある東部の文教地区からなる。
地下鉄が 3 路線 11 駅、JR 中央線が 1 駅あり利便性に恵まれている。
住環境・商業・自然・教育がバランスよく調和したまちとして発展している。
精神科医療へのアクセスもよく、区内に 2 つの精神科病院を有し、精神科、心療内科を標榜する診療所も多い。</td></tr>
<tr><td>人　口
(7.10.1 現在)</td><td colspan="2">総数　165,890 人(男　80,444 人　女　85,446 人)
世帯　91, 301 世帯</td><td>学区</td><td>15</td><td>面積　18.18 ㎢</td></tr>
<tr><td>自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)</td><td colspan="5">
<table>
<tr><th></th><th>千種区</th><th>市全体</th></tr>
<tr><td>F0</td><td>106人</td><td>1,801人</td></tr>
<tr><td>F1</td><td>60人</td><td>816人</td></tr>
<tr><td>F2</td><td>580人</td><td>7,923人</td></tr>
<tr><td>F3</td><td>2,284人</td><td>34,775人</td></tr>
<tr><td>F4</td><td>400人</td><td>7,458人</td></tr>
<tr><td>F5</td><td>10人</td><td>263人</td></tr>
<tr><td>F6</td><td>20人</td><td>220人</td></tr>
<tr><td>F7</td><td>20人</td><td>352人</td></tr>
<tr><td>F8</td><td>315人</td><td>4,371人</td></tr>
<tr><td>F9</td><td>211人</td><td>2,841人</td></tr>
<tr><td>G40</td><td>139人</td><td>2,515人</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>11人</td><td>115人</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>4,156人</td><td>63,450人</td></tr>
</table>
【千種区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】


</td></tr>
<tr><td>自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)</td><td colspan="5">指定病院 5 か所【うち精神科病院 2 か所(精神病床 481 床)、精神科外来病院 3 か所】
指定診療所 29 か所【うち精神科等診療所 16 か所】、指定訪問看護事業所 30 か所
デイケア 3 か所、ナイトケア 1 か所、デイナイトケア 3 か所、ショートケア 2 か所、リワーク 0 か所</td></tr>
<tr><td rowspan="3">障害福祉サービス等事業所数
(8.3.31 現在)</td><td>訓練等給付</td><td colspan="4">共同生活援助 16 か所、自立訓練(生活訓練)0 か所
就労移行 8 か所、就労 A 型 10 か所、就労 B 型 24 か所</td></tr>
<tr><td>介護給付</td><td colspan="4">居宅介護 56 か所、短期入所 5 か所</td></tr>
<tr><td>計画相談・地域相談支援給付</td><td colspan="4">計画相談支援 14 か所、障害児相談支援 12 か所、
地域移行支援 9 か所、地域定着支援 9 か所</td></tr>
<tr><td>地域精神保健福祉活動における課題</td><td colspan="5">令和 7 年度事業実績</td></tr>
<tr><td>1　複合問題世帯に対する、より包括的な支援体制の構築
2　地域住民、医療機関、高齢者支援機関等への普及啓発
3　成人発達障害に係る普及啓発、事業所育成
4　学校と連携した普及啓発等若年層への支援</td><td colspan="5">【精神保健福祉相談】
相談件数　延 760 件
訪問件数　延 359 件
電話相談件数　延 1,560 件
【集団指導等】
①発達障害家族のつどい 12 回延 120 人
(内容)家族同士の体験交流、発達障害や二次障害についての学習等。
②家族教室「精神疾患の基礎的理解」
14 人
【その他の事業】
①　地域密着企画事業上映会「どうすればよかったか？」とミニ講話　(千種・中・昭和・名東4区共催)　155 人
②　自由が丘学区地域支えあい事業研修会　39 人
③　愛知県精神医療センター職員及び入院患者向けの取組(東ブロック構成機関、ピアサポーターと協働)　2回　延 28 人
④　菊里高等学校生徒会執行部　健康講話　7 人
⑤　名経大市邨中学校高等学校 PTA 「10 代からのメンタルヘルス」 19 人
⑥　自殺対策月間区役所内普及啓発ブース　延 996 人</td></tr>
</table>

東　保　健　セ　ン　タ　ー

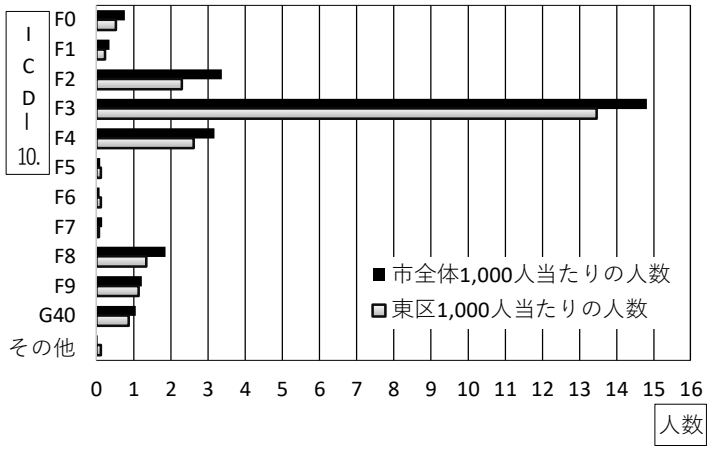
地区の特性	当区の南西部は都心の商業ビジネス地域の一角を形成し、経済活動の拠点としての役割を担っている。中央部は城下町として閑静な住宅街。東北部には多数の教育施設と娯楽施設、そして住宅団地の並ぶ商住の混合地域となっている。 また名古屋市最初の区の一つとして誕生した歴史と文化の街でもある。管内に精神病床を有する病院はないが、精神科等診療所には区外を含めて比較的アクセスしやすい。

人口 (7.10.1 現在)	総数　90,599 人(男　43,230 人　女　47,369 人) 世帯　51,063 世帯	学区	9	面積	7.71 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	東区	市全体
F0	48人	1,801人
F1	20人	816人
F2	209人	7,923人
F3	1,218人	34,775人
F4	237人	7,458人
F5	10人	263人
F6	11人	220人
F7	6人	352人
F8	121人	4,371人
F9	104人	2,841人
G40	78人	2,515人
その他	11人	115人
合計	2,073人	63,450人

【東区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 0 か所【うち精神科病院 0 か所(精神病床 0 床)、精神科外来病院 0 か所】 指定診療所 20 か所【うち精神科等診療所 8 か所】、指定訪問看護事業所 12 か所 デイケア 0 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 7 か所、自立訓練(生活訓練)3か所 就労移行 3 か所、就労 A 型 8 か所、就労 B 型 11 か所
	介護給付	居宅介護 20 か所、短期入所 10 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 10 か所、障害児相談支援 9 か所、 地域移行支援 6 か所、地域定着支援 6 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　相談・訪問活動の充実 2　こころの健康相談日の活用 3　こころの健康づくりに関する知識の普及啓発 4　支援機関や所内他職種との連携強化	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 395 件 訪問件数　延 282 件 電話相談件数　延 1188 件 【集団指導等】 家族のつどい　6 回　45 人 (内容)社会資源や病気に関する学習、ピアサポーター体験談、近況報告、相談等	【地域密着企画事業】 ・自立支援連絡協議会精神保健福祉研修会「ようこそ依存症の世界へ」講話・ピアサポーター体験談参加者 16 人 ・なごやかまつり・ひがしへの出展 こころの健康にまつわるパネル掲示と健康クイズを出題。精神保健普及啓発物品として区内就労継続支援 B 型の物品を 380 個配布。

北　保　健　セ　ン　タ　ー

地区の特性

当区は、JR や名鉄、市営地下鉄などの公共交通機関や、国道 19 号・41 号、名古屋高速 1 号楠線、名古屋環状線などの幹線道路が縦横に通じ、都市の発展に重要な役割を担っている。また、公団・公営の大規模住宅団地が多く点在し、単身の高齢者や精神障害者も多い。

未受診・未治療者に関する家族からの相談や、高齢者の精神保健に関する相談が増加しつつあるため、関係機関との支援ネットワークの体制を構築していく必要がある。

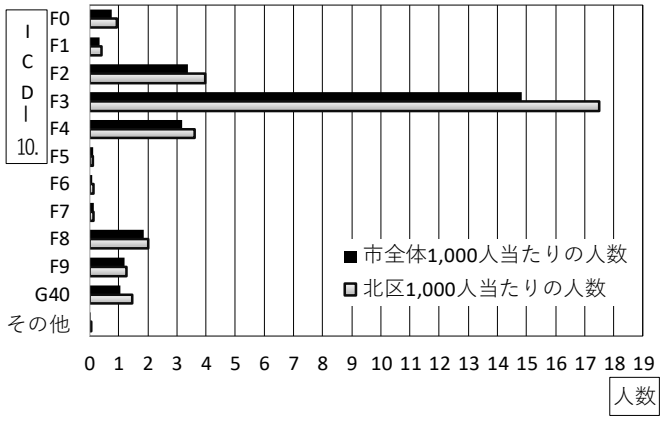
北区の精神医療・保健福祉関係機関等で組織され、自立支援連絡協議会の精神部会として位置づけられている北区精神保健福祉ネットワーク「メンタルネットきた」が、普及啓発活動や地域の支援者作り、当事者交流などに取り組んでいる。

人口（7.10.1 現在）	総数　160,198 人（男　78,256 人　女　81,942 人）	学区	19	面積	17.53 ㎢
	世帯　81,013 世帯				

自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数（8.3.31 現在）

	北区	市全体
F0	152人	1,801人
F1	67人	816人
F2	636人	7,923人
F3	2,800人	34,775人
F4	579人	7,458人
F5	16人	263人
F6	20人	220人
F7	21人	352人
F8	320人	4,371人
F9	201人	2,841人
G40	235人	2,515人
その他	8人	115人
合計	5,055人	63,450人

【北区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数】



自立支援医療（精神通院）指定医療機関（8.3.31 現在）

指定病院 5 か所【うち精神科病院 1 か所（精神病床 217 床）、精神科外来病院 2 か所】
指定診療所 20 か所【うち精神科等診療所 12 か所】、指定訪問看護事業所 37 か所
デイケア 4 か所、ナイトケア 2 か所、デイナイトケア 2 か所、ショートケア 3 か所、リワーク 1 か所

障害福祉サービス等事業所数（8.3.31 現在）

訓練等給付	共同生活援助 30 か所、自立訓練（生活訓練）1か所 就労移行 5 か所、就労 A 型 9 か所、就労 B 型 27 か所
介護給付	居宅介護 85 か所、短期入所 20 か所
計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 13 か所、障害児相談支援 13 か所、 地域移行支援 7 か所、地域定着支援 7 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　自立支援連絡協議会・精神部会（メンタルネットきた）を中心とした支援ネットワークの充実 2　所内他職種との連携強化 3　重層的支援体制整備事業及び高齢者支援機関との連携強化 4　未治療者及び治療中断者への支援	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 391 件 訪問件数　延 304 件 電話相談件数　延 1,524 件 【集団指導等】 家族のつどい　4回　66 人 （内容）「親なき後の備え」をテーマに、相談機関やサービス等の紹介及び交流会を実施。	【その他の事業】 ①地域密着企画事業 こころの健康講演会 「振り回されない、他人の身勝手なフキハラに！～科学的根拠と対処法を知れば脳もごきげんに～」参加者：106人 ②出前講座 民生委員等向け普及啓発 参加者：24人（全2回）

西　保　健　セ　ン　タ　ー

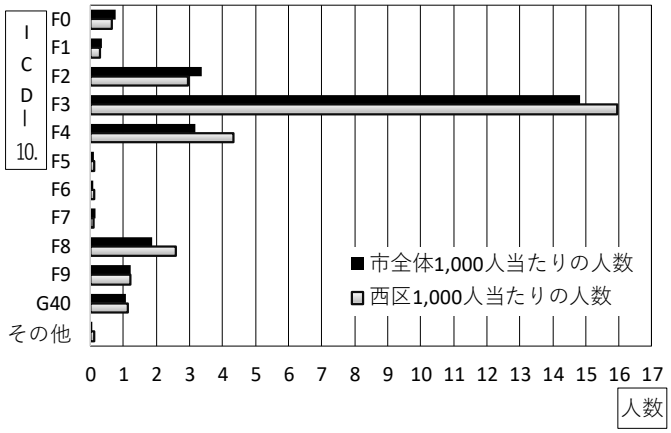
地区の特性	当区は、明治 41 年 4 月に名古屋市 4 区制実施により誕生し、中、東、南区とともに、市内で最も歴史ある区のひとつ。区域には数多くの史跡や昔ながらの街並みと、近代的なオフィス街や活気あふれる繁華街をあわせもつ。また、過去に東海豪雨をはじめ大きな水害に見舞われたことから、災害対応力の高いまちづくりに取り組んでいる。 区内の精神科等のクリニック数も増えつつあるが、精神病床を有する精神科病院がなく、隣接地域の医療機関や支援機関の協力を得ている現状がある。自らの体験談を伝えることにより、長期入院者の退院に向けた動機づけ支援や、地域住民や支援者等に対し普及啓発を行う精神障害者ピアサポーターの活動が盛んである。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　152,613 人(男　75,130 人　女 77,483 人) 世帯　79,844 世帯	学区	19	面積	17.93 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数(8.3.31 現在)

	西区	市全体
F0	101人	1,801人
F1	45人	816人
F2	456人	7,923人
F3	2,454人	34,775人
F4	668人	7,458人
F5	19人	263人
F6	18人	220人
F7	16人	352人
F8	398人	4,371人
F9	186人	2,841人
G40	174人	2,515人
その他	17人	115人
合計	4,552人	63,450人

【西区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 4 か所【うち精神科病院 0 か所(精神病床 0 床)、精神科外来病院 1 か所】 指定診療所 20 か所【うち精神科等診療所 14 か所】、指定訪問看護事業所 32 か所 デイケア 2 か所、ナイトケア 1 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、 リワーク 2 か所

障害福祉サービス等事業所数(8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 27 か所、自立訓練(生活訓練)2 か所 就労移行 4 か所、就労 A 型 10 か所、就労 B 型 38 か所
	介護給付	居宅介護 64 か所、短期入所 14 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 22 か所、障害児相談支援 21 か所、 地域移行支援 12 か所、地域定着支援 12 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績
1. 多職種連携による支援体制の強化 2. 地域の支援機関のネットワーク機能の充実 3. 援助希求能力が十分でない方への対応	【精神保健福祉相談】 相談件数　延　694 件 訪問件数　延　461 件 電話相談件数　延　1,929 件 【地域密着企画事業】 「精神障害者ピアサポーターと協働して行う、地域移行促進のための普及啓発活動」 (ピアサポーターの体験談を普及啓発用に映像化) 【集団指導等】 精神障害者家族教室　4 回　94 人 (内容)①対話の仕方　②ヒューマンライブラリー　③本人との関わり方　④ヒューマンライブラリー　※すべての回で保健師による健康教育を実施。

中　村　保　健　セ　ン　タ　ー

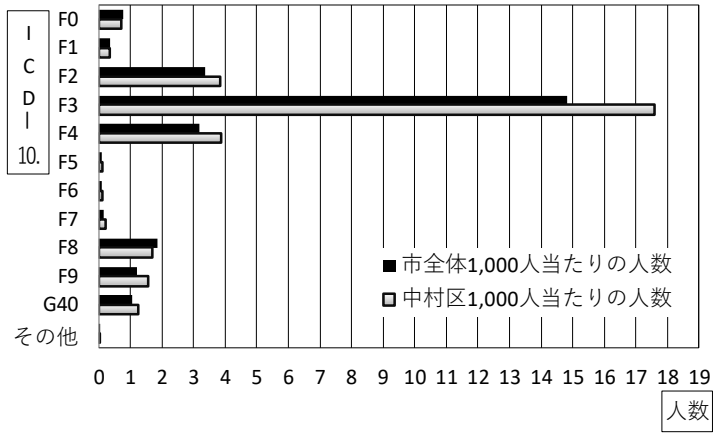
地区の特性	当区は市の北西部に位置し、区内東部は名古屋駅、オフィス街があり、中央部は新旧の住宅街が混在し、西部には住宅街のほか農地がみられ、文化史跡も数多くみられる。 人口は創設時より増加傾向が続き、昭和30年代終わり及び昭和40年代初めには一時20万人を越えていたが、昭和40年代半ばから減少が続いた。平成17年には37年ぶりに増加し、その後は増減を繰り返している。 医療施設は管内に精神科病院があり、精神科等クリニックも多数ある。また、障害者に関する施設等も多数あり、受診や支援を受けやすい環境が整っている。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　143,789 人（男 72,789 人 女 71,000 人） 世帯　82,623 世帯	学区	18	面積	16.30 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	中村区	市全体
F0	104人	1,801人
F1	49人	816人
F2	563人	7,923人
F3	2,572人	34,775人
F4	565人	7,458人
F5	16人	263人
F6	17人	220人
F7	30人	352人
F8	246人	4,371人
F9	227人	2,841人
G40	185人	2,515人
その他	4人	115人
合計	4,578人	63,450人

【中村区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 5 か所【うち精神科病院 1 か所(精神病床 345 床)、精神科外来病院 1 か所】 指定診療所 28 か所【うち精神科等診療所 19 か所】、指定訪問看護事業所 36 か所 デイケア 2 か所、ナイトケア 1 か所、デイナイトケア 1 か所、ショートケア 0 か所、リワーク1か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助32か所、自立訓練(生活訓練)2か所 就労移行8か所、就労 A 型 12 か所、就労 B 型 40 か所
	介護給付	居宅介護 65 か所、短期入所 16 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 14 か所、障害児相談支援 15 か所、 地域移行支援 9 か所、地域定着支援 9 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　若年者に対するセルフメンタルケアの促進と普及啓発活動、相談窓口の周知 2　支援機関間の情報共有や相互理解、ネットワーク構築推進 3　未治療者や治療中断者に対する支援の充実	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 1,038 件 訪問件数　延 815 件 電話相談件数　延 2,237 件 【その他の事業】 地域密着企画事業 むらごとプロジェクト ・全体会(全体調整会議) 3 回 43 人	・むらごとネット(ネットワーク構築) 支援者研修:1 回 77 人 家族支援のチラシ作成 ・むらごとワーク(普及啓発活動) 専門学校・大学　4 回 190 人 イベントでの活動 2 回 300 人 ・むらごとグッズ(普及啓発物品) 中村区「ひとりじゃないよ」おまもり作成　若年者版 2,600 枚、全世代版 2,000 枚

中　保　健　セ　ン　タ　ー

地区の特性

中区は市の中央部に位置し、北部に官庁街、中心部にビジネス街・ショッピング街を抱えているため、昼間人口比率が市内でも突出して高い。令和 7 年度国勢調査では前回調査と比べ、人口と世帯数が増加数・増加率ともに市内で最も大きくなっているほか、東区に次いで二番目に人口密度が高い区でもある。近年外国人住民が多くなった事、当区に住民票の無い住民が多い事も特色である。単身世帯が多く、高齢の単身世帯における認知症等の相談や、孤独感を抱えた若い世代の相談が増加している。

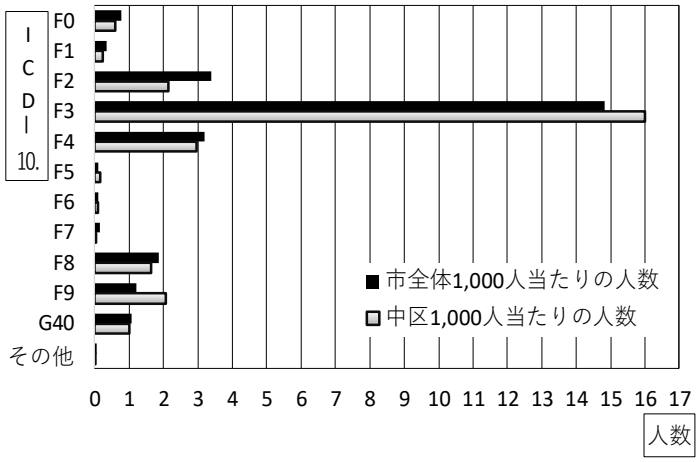
区内には日中活動系サービスを提供する障害福祉サービス事業所が非常に多く、そのアクセスの良さから、区外や市外からの通所者も多い。同様に精神科・心療内科の診療所も市内で最も多く、通院しやすい医療環境にある。

人口（7.10.1 現在）	総数　107,614 人（男　54,079 人　女　53,535 人）	学区	11	面積	9.38 ㎢
	世帯　74,801 世帯				

自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数（8.3.31 現在）

	中区	市全体
F0	64人	1,801人
F1	26人	816人
F2	232人	7,923人
F3	1,734人	34,775人
F4	322人	7,458人
F5	18人	263人
F6	11人	220人
F7	5人	352人
F8	177人	4,371人
F9	225人	2,841人
G40	110人	2,515人
その他	1人	115人
合計	2,925人	63,450人

【中区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数】



自立支援医療（精神通院）指定医療機関（8.3.1 現在）

指定病院 4 か所【うち精神科病院 1 か所（精神病床 38 床）、精神科外来病院 0 か所】
指定診療所 42 か所【うち精神科等診療所 28 か所】、指定訪問看護事業所 16 か所
デイケア 1 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数（8.3.31 現在）

訓練等給付	共同生活援助 5 か所、自立訓練（生活訓練）2 か所 就労移行 21 か所、就労 A 型 21 か所、就労 B 型 45 か所
介護給付	居宅介護 43 か所、短期入所　2 か所
計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 16 か所、障害児相談支援 14 か所、 地域移行支援 11 か所、地域定着支援 11 か所

地域精神保健福祉活動における課題

1　相談・訪問援助活動の充実
2　関係機関との連携強化
3　こころの健康相談日の活用
4　保健センター内での多職種連携

令和 7 年度事業実績

【精神保健福祉相談】
相談件数　延 221 件
訪問件数　延 272 件
電話相談件数　延 1,380 件

【集団指導等】
卓球を楽しむ会　12 回　延 65 人
（内容）市内在住の当事者が集まり、卓球の練習やシングルス戦を中心に活動。

【その他の事業】
・地域密着企画事業　上映会「どうすればよかったか？」とミニ講話（千種・中・昭和・名東4区共催）　155 人
・出張健康相談　2 回　延 36 人

昭　和　保　健　セ　ン　タ　ー

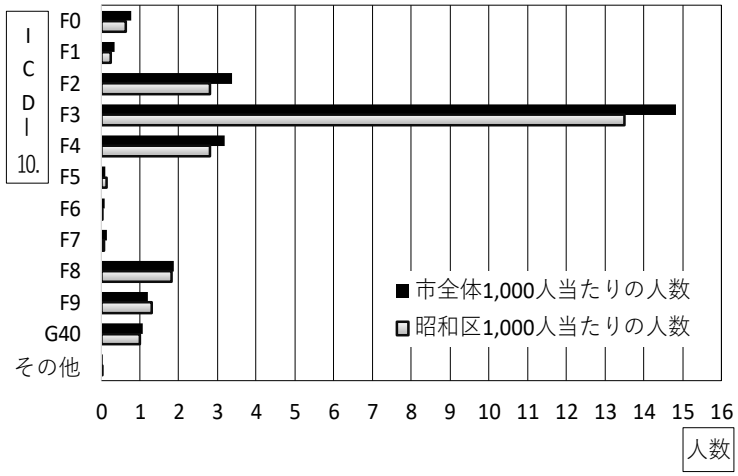
地区の特性	当区は市のほぼ中心部にありながら、鶴舞公園や興正寺公園などの自然環境が多く残っており、また JR 中央線、地下鉄鶴舞線・桜通線が通っており、利便性に恵まれた地域である。中央部から東部にかけては閑静な住宅街、古くからの落ち着いた住宅地が続いている。西部は古くからの商店街や町工場のある商・工・住の混在地であったが、近年は中高層のマンションが建ち、住宅・商業地区へと変化しつつある。文教施設が多いため、20代の比率が他区と比較して高い。また、核家族化の進行とともに高齢者世帯が増加し、独居、寝たきり、認知症等の高齢者問題や親なき後もなお、ひきこもる子どもの問題も出てきている。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　109,184 人(男　53,538 人　女　55,646 人) 世帯　56,882 世帯	学区	11	面積	10.94 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	昭和区	市全体
F0	69人	1,801人
F1	28人	816人
F2	305人	7,923人
F3	1,472人	34,775人
F4	307人	7,458人
F5	15人	263人
F6	4人	220人
F7	7人	352人
F8	199人	4,371人
F9	141人	2,841人
G40	108人	2,515人
その他	3人	115人
合計	2,658人	63,450人

【昭和区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 6 か所【うち精神科病院 2 か所(精神病床 217 床)、精神科外来病院 3 か所】 指定診療所 24 か所【うち精神科等診療所 16 か所】、指定訪問看護事業所 21 か所 デイケア 2 か所、ナイトケア 1 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 8 か所、自立訓練(生活訓練)1か所 就労移行 1 か所、就労 A 型 4 か所、就労 B 型 10 か所
	介護給付	居宅介護 51 か所、短期入所 7 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 11 か所、障害児相談支援 9 か所、 地域移行支援 8 か所、地域定着支援 7 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　相談・訪問援助活動の充実 2　精神保健福祉に関する支援者の対応力を向上するための支援の充実 3　こころの健康相談日の活用	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 121 件 訪問件数　延 93 件 電話相談件数　延 610 件 【集団指導等】 家族のつどい 4 回　延 22 人	【その他の事業】 ・地域密着企画事業　上映会「どうすればよかったか？」とミニ講話(千種・中・昭和・名東4区共催) 参加者　155 人 ・地域密着企画事業 「血めぐり改善と良質な睡眠のための講座」(健康づくり事業と共催)

瑞　穂　保　健　セ　ン　タ　ー

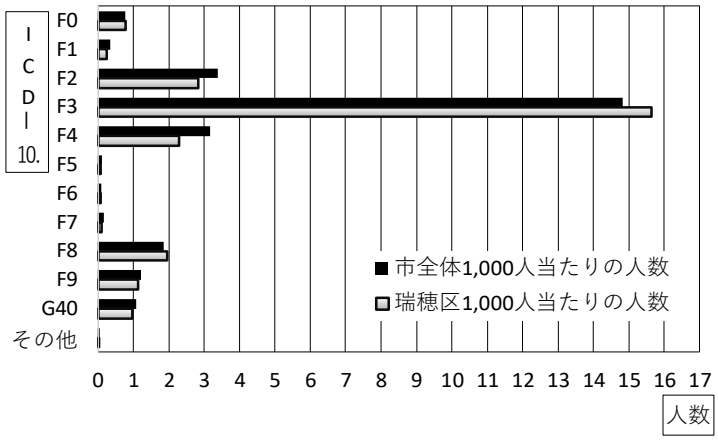
地区の特性	当区は閑静な住宅街が広がる東部、工場や事務所などが多く見られる西部、住宅・商店街・中小企業などが混在する中央部により形成されている。 区内には名古屋市立大学を始め多数の教育施設や博物館などがあり、市内有数の文教地区となっている。古くから自営業を営む富裕層も多く、近隣との繋がりの強い地区も多い。 近年では高齢化の進行とともに、独居、認知症などで見守り等が必要な高齢者世帯の問題、親なき後もひきこもる子供の問題など、家族・近隣住民からの相談も増えている。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　109,381 人(男　52,459 人　女　56,922 人) 世帯　53,369 世帯	学区	11	面積	11.22 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	瑞穂区	市全体
F0	87人	1,801人
F1	26人	816人
F2	311人	7,923人
F3	1,717人	34,775人
F4	251人	7,458人
F5	9人	263人
F6	9人	220人
F7	11人	352人
F8	215人	4,371人
F9	125人	2,841人
G40	107人	2,515人
その他	2人	115人
合計	2,870人	63,450人

【瑞穂区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 3 か所【うち精神科病院 1 か所(精神病床 28 床)、精神科外来病院 0 か所】 指定診療所 17 か所【うち精神科等診療所 10 か所】、指定訪問看護事業所 27 か所 デイケア 2 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 2 か所	
障害福祉サービス等決定者数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助15か所、自立訓練(生活訓練)2か所 就労移行3か所、就労 A 型2か所、就労 B 型18か所
	介護給付	居宅介護32か所、短期入所　8か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援9か所、障害児相談支援8か所、 地域移行支援4か所、地域定着支援4か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　相談・訪問援助の充実 2　多様化する相談にあわせた支援力の向上 3　関係機関との連携強化	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 154 件 訪問件数　延 211 件 電話相談件数　延 1,300 件 【集団指導等】 家族のつどい　2 回　28 人 ・第 1 回「深く理解する！リハビリテーションってなに？」 ・第 2 回「臨床心理士が教える心理カウンセリングについて」	【その他の事業】 地域密着企画事業 ・「ネット世代の若者の特徴と関わり方～今どきの若者の考え方や行動を読み解こう～ 」 ・自立支援協議会にて福祉従事者向けメンタルヘルス研修 ・区民まつりにて精神保健普及啓発物品として区内の就労継続支援 B 型の物品を 200 個配布

熱　田　保　健　セ　ン　タ　ー

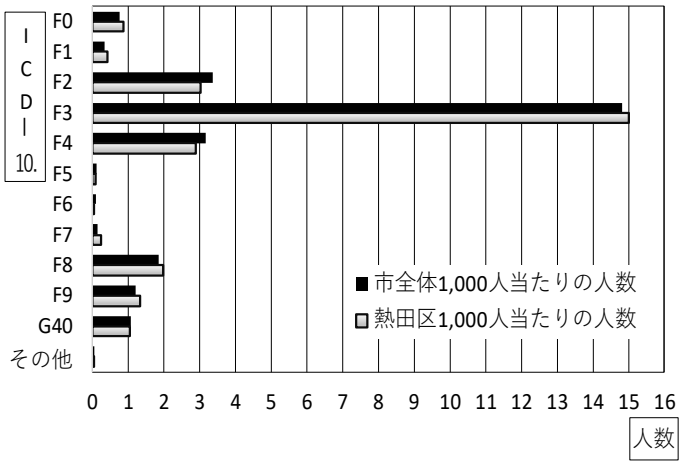
地区の特性	当区は、古くから東西交流の要衝として栄えた歴史と文化の町である。現在は金山総合駅および 3 線の鉄道、4 本の国道を擁し、熱田神宮などの史跡観光地や中央卸売市場・国際会議場、南部工業地帯など、物流や人的交流の場として発展している。 新興マンションの建設が相次いでいるが、古くからの住宅街も健在で、熱田まつりなどの地域伝統行事も活発である。区の人口は 6 万7000 人前後で、ほぼ横ばいに推移しているが、少子高齢化が進んでいる。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　67,514 人(男　33,738 人　女　33,776 人) 世帯　36,151 世帯	学区	7	面積	8.20 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	熱田区	市全体
F0	59人	1,801人
F1	29人	816人
F2	206人	7,923人
F3	1,022人	34,775人
F4	197人	7,458人
F5	6人	263人
F6	3人	220人
F7	17人	352人
F8	135人	4,371人
F9	91人	2,841人
G40	71人	2,515人
その他	3人	115人
合計	1,839人	63,450人

【熱田区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関 (8.3.31 現在)	指定病院 1 か所【うち精神科病院 0 か所(精神病床 0 床)、精神科外来病院 1 か所】 指定診療所 11 か所【うち精神科等診療所 7 か所】、指定訪問看護事業所 12 か所 デイケア 0 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助7か所、自立訓練(生活訓練)4か所 就労移行10か所、就労 A 型6か所、就労 B 型9か所
	介護給付	居宅介護275 か所、短期入所　4 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援13か所、障害児相談支援 12 か所、 地域移行支援8か所、地域定着支援8か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績
1　地域包括における関係機関との連携強化。 2　個別相談の充実(嘱託医によるこころの健康相談日の活用) 3　家族を含む地域住民や関係機関を対象にした普及啓発活動の実施	【精神保健福祉相談】 相談件数　延335件 訪問件数　延188件 電話相談件数　延644件 【集団指導等】 家族のつどい3回 (参加者)　25人 【その他の事業】 地域密着企画事業 ・こころとカラダにやさしいごはん教室　29 名参加 ・グラフィックレコーディング研修会　44 名参加 ・関係機関向け感染症対策研修　42 名参加

中　川　保　健　セ　ン　タ　ー

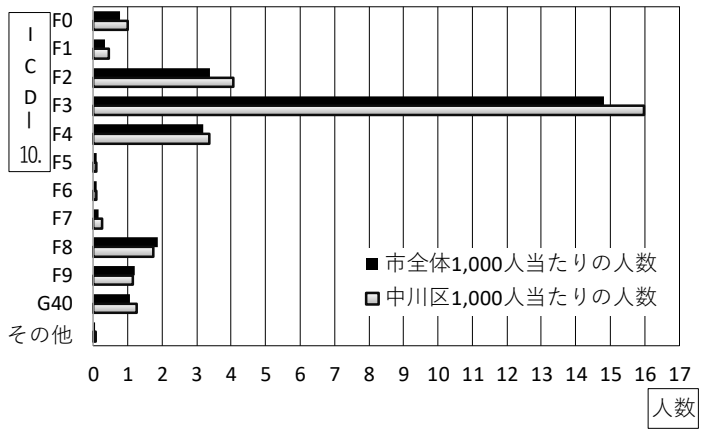
地区の特性	当区は東西に長く、面積が本市の約1割を占め、把握患者数が多い。全体に住宅や商業地域が広がっており、東部には運河を中心とする工業地域、中・西部には農業地域がみられる。大規模な公営住宅や、入所施設が多く点在している。また、高齢者や障害者の世帯が多い。 相談の傾向として医療機関への受診援助やひきこもり、単身や家族が高齢となった障害者に関する相談が多い。

人　口 (8.6.1 現在)	総数　216,796 人(男　107,148 人　女　109,648 人) 世帯　105,341 世帯	学区	24	面積	32.02 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数(8.3.31 現在)

	中川区	市全体
F0	216人	1,801人
F1	100人	816人
F2	879人	7,923人
F3	3,456人	34,775人
F4	728人	7,458人
F5	21人	263人
F6	19人	220人
F7	57人	352人
F8	378人	4,371人
F9	247人	2,841人
G40	275人	2,515人
その他	15人	115人
合計	6,391人	63,450人

【中川区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 5 か所【うち精神科病院 2 か所(精神病床 619 床)、精神科外来病院 3 か所】 指定診療所 13 か所【うち精神科等診療所 4 か所】、指定訪問看護事業所 42 か所 デイケア1か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 1 か所、ショートケア 1 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数(8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 54 か所、自立訓練(生活訓練)3 か所 就労移行 1 か所、就労 A 型 14 か所、就労 B 型 55 か所
	介護給付	居宅介護 85 か所、短期入所 18 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 20 か所、障害児相談支援 18 か所、 地域移行支援 10 か所、地域定着支援 10 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　未治療、治療中断者を含めた、支援が行き届かない方への支援と支援継続の在り方 2　家族を含めた地域住民や関係機関への充実した普及啓発活動の実施 3　精神科救急、障害者虐待、複雑困難な事例に対する判断と対応の体制強化 4　災害など非常時における地域精神保健福祉活動	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 3,413 件 訪問件数　延 575 件 電話相談件数　延 2,657 件	【その他の事業】 ・松蔭病院個別相談会 4 回 ・自立支援連絡協議会事例検討会 ・中川区東部いきいき支援センター所内勉強会　講義 ・愛知県看護協会認定看護管理者教育課程臨地実習　講義 ・管理栄養士課程学生　講義 ・校外実習生(高校生)　精神保健に関する講義

港　保　健　セ　ン　タ　ー

地区の特性

近年の港区は、平成29年に「レゴランド・ジャパン」、平成30年に「ららぽーと名古屋みなとアクルス」が開業し、全国からの注目が集まっている。

その一方で、発生が懸念される南海トラフ巨大地震や大規模な豪雨災害への対策や、増加する空家への対策、いわゆる団塊の世代が75歳以上となることを見据えた高齢者福祉の在り方、グローバル化の進展や改正出入国管理法施行による外国人住民の増加への対応など、多様化・複雑化する課題に向けてさまざまな対応が求められている。

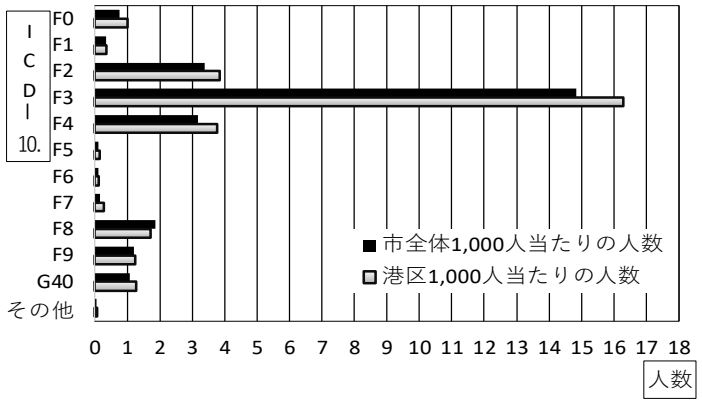
区内に精神科を受診できる医療機関が総合病院1か所、診療所 3 か所のみという現状があり、他区の医療機関での受診者が多い。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　132,755 人(男　66,278 人　女　66,477 人) 世帯　61,121 世帯	学区	20	面積	45.64 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	港区	市全体
F0	135人	1,801人
F1	47人	816人
F2	507人	7,923人
F3	2,151人	34,775人
F4	497人	7,458人
F5	18人	263人
F6	17人	220人
F7	38人	352人
F8	227人	4,371人
F9	166人	2,841人
G40	168人	2,515人
その他	10人	115人
合計	3,981人	63,450人

【港区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)

指定病院 3 か所【うち精神科病院 0 か所(精神病床 0 床)、精神科外来病院 1 か所】
指定診療所 9 か所【うち精神科等診療所 4 か所】、指定訪問看護事業所 20 か所
デイケア 0 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数
(8.3.31 現在)

訓練等給付	共同生活援助 22 か所、自立訓練(生活訓練)0 か所 就労移行 1 か所、就労 A 型 7 か所、就労 B 型 23 か所
介護給付	居宅介護 54 か所、短期入所 21 か所
計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 13 か所、障害児相談支援 13 か所、 地域移行支援 9 か所、地域定着支援 9 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　精神保健福祉相談員と保健師の協同による相談支援体制の強化 2　精神障害に対する誤解や社会的偏見をなくすための普及啓発活動の計画	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 3,207 件 訪問件数　延 327 件 電話相談件数　延 1,322 件 【集団指導等】 一期くらぶ　12 回　100 人 (内容)　地域在住の当事者へレクリエーションの場を提供。 依存症家族教室　12 回　50 人 (内容)　依存症者の家族を対象とし交流の場を提供。	【その他の事業】 地域密着企画事業 当事者と小学生の交流事業 参加者　28 人 (内容) 西築地小学校にて、当事者と小学生で協働し、創作活動を行った。 一期くらぶ運動会 参加者 12 人

南　保　健　セ　ン　タ　ー

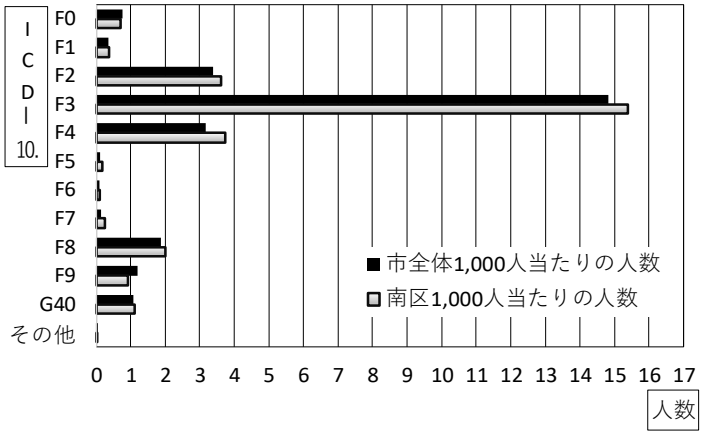
地区の特性	区内には鉄道各線が通り、国道や高速道路など交通網が充実している。西部・南部には多くの工場が立地する一方で、歴史・文化遺産が数多く残る地域や、市営住宅、高齢者向け住宅が点在している。 また、南区は高齢化率、生活保護率、精神障害者保健福祉手帳所持率が市内で最も高く、精神的な課題や生活上の困難を抱える住民への支援ニーズが高い地域である。 相談内容の傾向としては、介護者の高齢化に伴う相談が増加している一方で、若年者からの相談も多くみられ、支援対象が高齢者世帯と若年層に二極化していることが特徴である。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　132,308 人(男　66,945 人　女　65,363 人) 世帯　66,134 世帯	学区	18	面積	18.46 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	南区	市全体
F0	93人	1,801人
F1	50人	816人
F2	477人	7,923人
F3	2,031人	34,775人
F4	492人	7,458人
F5	23人	263人
F6	14人	220人
F7	32人	352人
F8	263人	4,371人
F9	122人	2,841人
G40	146人	2,515人
その他	2人	115人
合計	3,745人	63,450人

【南区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 9 か所【うち精神科病院 2 か所(精神病床 398 床)、精神科外来病院 2 か所】 指定診療所 16 か所【うち精神科等診療所 5 か所】、指定訪問看護事業所 21 か所 デイケア 3 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所	
障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 20 か所、自立訓練(生活訓練)7 か所、自立訓練(機能訓練)6 か所、就労移行 2 か所、就労 A 型7か所、就労 B 型 23 か所
	介護給付	居宅介護 50 か所、短期入所 9 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 11 か所、障害児相談支援 11 か所、 地域移行支援 5 か所、地域定着支援 5 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績
1　未受診者や治療中断者へのアウトリーチ 2　早期発見・早期支援の仕組み 3　所内における精神保健業務体制の構築	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 449 件 訪問件数　延 343 件 電話相談件数　延 2,086 件 【集団指導等】 ・家族教室　11 回　85 人 ・家族のつどい　1 回　30 人 ・親なきあと講演相談会　70 人 【その他の事業】 ・地域密着企画事業(地域活動支援センタークオーレとの共催) 「ココロとカラダにやさしいコーヒー講座」　参加者　18 人

守　山　保　健　セ　ン　タ　ー

地区の特性

本市の東北部に位置し、南に矢田川、北に庄内川が流れ、区の東北端の東谷山から西南に向かって丘陵地帯が広がる起伏にとんだ地形となっている。豊かな水と緑のあふれる自然に恵まれ、金城学院大学や愛知県立大学、国際学園などの文教施設も多く、自然環境のよさが生かされている。

区内には精神科病院が 3 院あり、病床数は市内でも群を抜いている。障害福祉サービス等事業所や訪問看護ステーションも年々増加しており、福祉サービス等の支援を受けて生活している方も多い。単身者の他、高齢の両親と同居する方や子を養育している方など、各々の生活状況に応じた柔軟な支援体制の構築が求められている。

人口（7.10.1 現在）

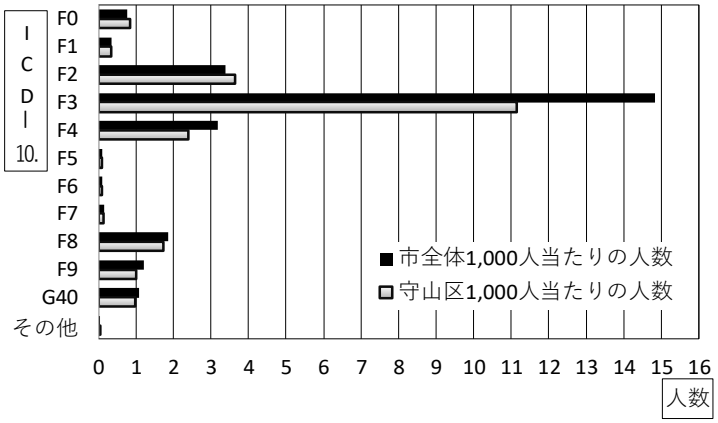
総数　176,201 人（男　85,562 人　女　90,639 人）
世帯　78,276 世帯

学区	21	面積	34.01 ㎢

自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数（8.3.31 現在）

	守山区	市全体
F0	147人	1,801人
F1	60人	816人
F2	640人	7,923人
F3	1,960人	34,775人
F4	421人	7,458人
F5	17人	263人
F6	17人	220人
F7	26人	352人
F8	305人	4,371人
F9	175人	2,841人
G40	174人	2,515人
その他	10人	115人
合計	3,952人	63,450人

【守山区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療（精神通院）受給者証所持者数】



自立支援医療（精神通院）指定医療機関（8.3.31 現在）

指定病院 4 か所【うち精神科病院 3 か所（精神病床 1,359 床）、精神科外来病院 0 か所】
指定診療所 9 か所【うち精神科等診療所 6 か所】、指定訪問看護事業所 43 か所
デイケア 3 か所、ナイトケア 1 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 2 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数（8.3.31 現在）

訓練等給付	共同生活援助46か所、自立訓練（生活訓練）7か所 就労移行3か所、就労 A 型4か所、就労 B 型24か所
介護給付	居宅介護106か所、短期入所26か所
計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援26か所、障害児相談支援 21か所、 地域移行支援16か所、地域定着支援16か所

地域精神保健福祉活動における課題

1　未治療者や治療中断者に対する支援の充実
2　精神科救急、障害者虐待などの緊急対応における所内体制の充実
3　関係機関との連携、支援体制の構築

令和 7 年度事業実績

【精神保健福祉相談】
相談件数　延 472 件
訪問件数　延 347 件
電話相談件数　延 1，334 件
【集団指導等】
家族のつどい 6 回　40 人
（内容）
ご家族同士の交流。講師を招いて、疾患や社会資源の学習会を実施。

【その他の事業】
地域密着企画事業
守山区こころのボランティア講座合同誌 「KOYORI（こより）」を広報誌として発行。

緑　保　健　セ　ン　タ　ー

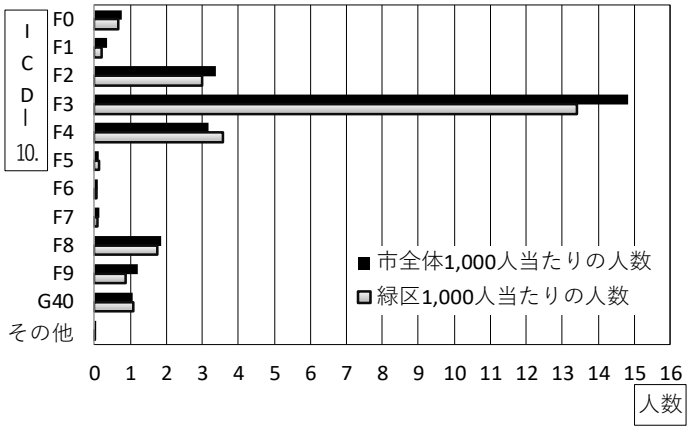
地区の特性	本市の東南部に位置し、南西部の天白川をはじめとする河川に沿った低地と北東部のゆるやかな丘陵地で形成されている。大高緑地公園をはじめとする公園の多さや、有松絞りなどの伝統産業が特徴的である。また、近年は区画整理事業が進み、新しい市街地が形成され、子育て世代が増加している。市内で2番目に広い地域に、本市人口の1割を超える、16区で最多の24万人余の人口を有する。人口増加等に伴い、精神障害者保健福祉手帳所持者、障害福祉サービス利用者等が例年増加している。 なお、区内には病床を有する精神科病院がないことから、他区や他市所在の病院との連携が必須である。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　247,991人(男 121,139人　女 126,852人) 世帯　106,833世帯	学区	28	面積	37.91 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	緑区	市全体
F0	161人	1,801人
F1	47人	816人
F2	740人	7,923人
F3	3,313人	34,775人
F4	882人	7,458人
F5	30人	263人
F6	15人	220人
F7	20人	352人
F8	435人	4,371人
F9	217人	2,841人
G40	264人	2,515人
その他	6人	115人
合計	6,130人	63,450人

【緑区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院3か所【うち精神科病院0か所(精神病床0床)、精神科外来病院2か所】 指定診療所28か所【うち精神科等診療所14か所】、指定訪問看護事業所51か所 デイケア3か所、ナイトケア0か所、デイナイトケア0か所、ショートケア1か所、リワーク2か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助27か所、自立訓練(生活訓練)2か所(機能訓練)0か所 就労移行2か所、就労A型4か所、就労B型29か所
	介護給付	居宅介護88か所、短期入所15か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援19か所、障害児相談支援18か所、 地域移行支援12か所、地域定着支援12か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和7年度事業実績
1　精神保健に関する正しい知識の普及、啓発事業の実施 2　支援者の対応力の向上 3　相談につながりにくい当事者とその家族への支援	【精神保健福祉相談】 相談件数　延3,234件 訪問件数　延483件 電話相談件数　延2,380件 【集団指導等】(家族教室) ①「孤立・孤独予防のために生活で気を付けたいこと～家族自身の健康維持を目指して～」6名 ②ケアラーズカフェwithクアオルト健康ウォーキング　10名 ③地域密着企画事業「ネット世代の若者の特徴と関わり方～今どきの若者の考え方や行動を読み解こう～ 」135名

名　東　保　健　セ　ン　タ　ー

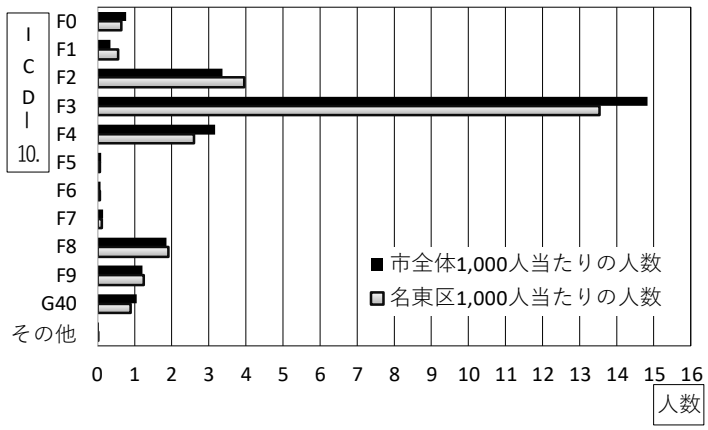
地区の特性	地下鉄や高速道路、東部丘陵線など交通の利便性の高さや、豊かな自然を感じられる大規模な緑地が複数あることから、若い世代も多く集まる市内屈指のベッドタウンとして発展してきた。転勤族が多く、常に若年層の転出入があるが、高齢化も進んでいる。相談の傾向としては、未受診・未治療者に関する家族からの相談、若年層や認知症を含む高齢者の精神保健、8050 問題、ひきこもりなど、内容は多様化している。なお、区内には病床を有する精神科病院がないため、近隣の病院との連携が重要である。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　161,851 人(男　77,121 人　女　84,730 人) 世帯　78,936 世帯	学区	19	面積	19.45 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	名東区	市全体
F0	107人	1,801人
F1	90人	816人
F2	639人	7,923人
F3	2,185人	34,775人
F4	422人	7,458人
F5	13人	263人
F6	13人	220人
F7	21人	352人
F8	310人	4,371人
F9	201人	2,841人
G40	145人	2,515人
その他	5人	115人
合計	4,151人	63,450人

【名東区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 3 か所【うち精神科病院 0 か所(精神病床 0 床)、精神科外来病院 2 か所】 指定診療所 26 か所【うち精神科等診療所 15 か所】、指定訪問看護事業所 43 か所 デイケア 1 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 0 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 21 か所、自立訓練(生活訓練)1 か所 就労移行 5 か所、就労 A 型 7 か所、就労 B 型 29 か所
	介護給付	居宅介護 88 か所、短期入所 20 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 21 か所、障害児相談支援 22 か所、 地域移行支援 5 か所、地域定着支援 10 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　相談・訪問活動の充実 2　精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築にむけてのネットワークづくり 3　重層的支援体制整備事業との連携強化 4　所内精神保健福祉業務の連携体制強化	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 667 件 訪問件数　延 438 件 電話相談件数　延 1,760 件 【集団指導等】 家族教室　6 回　25 人 (内容) 家族交流会、保健センターからのお知らせ	【その他の事業】 地域密着企画事業 上映会「どうすればよかったか？」とミニ講話 千種・中・昭和・名東 4 区共催 155 名

天　白　保　健　セ　ン　タ　ー

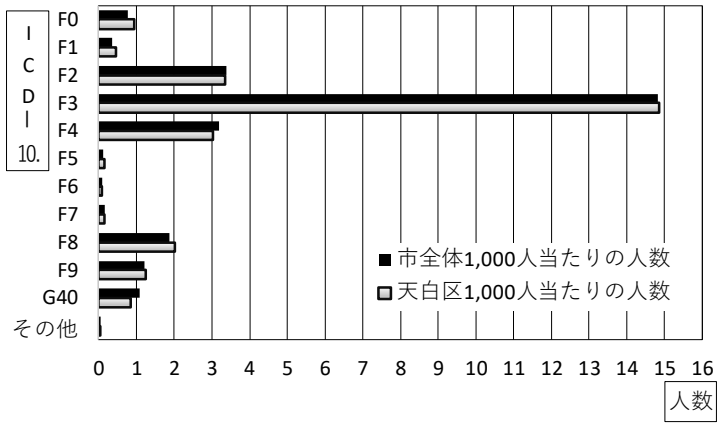
地区の特性	東部丘陵地で本市の東玄関として急速に開発がすすみ、地下鉄と市バスの公共交通網の整備とともに、公営の大規模な集合住宅や多数のマンションが供給された。農村から都市化が進んだが、相生山緑地など豊かな自然環境を残し調和がとれた環境づくりを目指している。 精神科病床を有する精神科病院があり、管内の精神科・心療内科の診療所も増えつつある。 区内や隣接する地域には大学も多く、若い世帯が多いが、高齢者精神保健、ひきこもり、依存症など相談内容は多様化している。区内には精神障害者家族会がないため、家族支援が課題となっている。

人　口 (7.10.1 現在)	総数　162,515 人(男　79,460 人　女　83,055 人) 世帯　80,899 世帯	学区	17	面積	21.58 ㎢

自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数
(8.3.31 現在)

	天白区	市全体
F0	152人	1,801人
F1	72人	816人
F2	543人	7,923人
F3	2,406人	34,775人
F4	490人	7,458人
F5	22人	263人
F6	12人	220人
F7	25人	352人
F8	327人	4,371人
F9	202人	2,841人
G40	136人	2,515人
その他	7人	115人
合計	4,394人	63,450人

【天白区と市全体の1,000人あたりの自立支援医療(精神通院)受給者証所持者数】



自立支援医療(精神通院)指定医療機関(8.3.31 現在)	指定病院 3 か所【うち精神科病院 1 か所(精神病床 425 床)、精神科外来病院 2 か所】 指定診療所 20 か所【うち精神科等診療所 15 か所】、指定訪問看護事業所 43 か所 デイケア 1 か所、ナイトケア 0 か所、デイナイトケア 1 か所、ショートケア 0 か所、リワーク 0 か所

障害福祉サービス等事業所数 (8.3.31 現在)	訓練等給付	共同生活援助 35 か所、自立訓練(生活訓練)2 か所 就労移行 2 か所、就労 A 型 8 か所、就労 B 型 33 か所
	介護給付	居宅介護 73 か所、短期入所 26 か所、生活介護 21 か所
	計画相談・地域相談支援給付	計画相談支援 19 か所、障害児相談支援 19 か所、 地域移行支援 13 か所、地域定着支援 13 か所

地域精神保健福祉活動における課題	令和 7 年度事業実績	
1　複雑化・長期化している傾向が強い精神保健福祉相談ケースに対応できるためのチームづくり 2　「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」を推進するための地域連携体制の整備	【精神保健福祉相談】 相談件数　延 382 件 訪問件数　延 427 件 電話相談件数　延 1,295 件 【集団指導等】 家族教室 11 回　延 48 人 臨床心理士による精神障害者の家族のグループワーク	【その他の事業】 地域密着企画事業 ①(天むす会)関係機関向けの勉強会 「依存症とは？地域の医療機関の取組みを学ぼう」21 人 ②4 区合同講演会「ネット世代の若者の特徴と関わり方～今どきの若者の考え方や行動を読み解こう～ 」135名

表3－2 相談・訪問援助実人員等 （令和７年度）

保健センター名	実人員	相談・訪問援助			
		新規者の受付経路（再掲）			
		医療機関	福祉機関	その他	小計
千種	435	2	10	131	143
東	151	7	6	32	45
北	273	0	9	34	43
西	216	6	8	56	70
中村	622	19	28	383	430
中	183	0	13	31	44
昭和	58	0	5	20	25
瑞穂	115	0	0	8	8
熱田	176	10	21	91	122
中川	2,711	1	0	280	281
港	2,501	1	15	2,485	2,501
南	268	0	2	127	129
守山	199	0	3	19	22
緑	3,152	0	4	87	91
名東	284	3	38	177	218
天白	173	19	24	65	108
合計	11,517	68	186	4,026	4,280

表3－3 実人員の推移

区分	3	4	5	6	7
実人員	5,974	6,890	9,848	11,469	11,517

表3－4 精神保健福祉相談件数（職種別）　（令和7年度）

保健センター名	嘱託医		精神保健福祉相談員		保健師		その他		計	
	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数
千種	33	52	247	509	56	158	15	41	351	760
東	22	35	65	195	21	59	25	106	133	395
北	28	46	125	235	38	55	23	55	214	391
西	34	73	138	448	24	55	20	118	216	694
中村	16	21	330	839	91	149	7	29	444	1,038
中	15	24	36	101	26	63	12	33	89	221
昭和	3	6	47	92	5	13	1	10	56	121
瑞穂	22	23	45	88	25	33	1	10	93	154
熱田	18	60	78	179	57	73	6	23	159	335
中川	27	49	240	423	2,284	2,912	23	29	2,574	3,413
港	2	2	308	375	2,799	2,828	2	2	3,111	3,207
南	34	101	64	173	50	156	11	19	159	449
守山	16	25	149	359	28	43	15	45	208	472
緑	15	17	117	204	2,853	2,995	6	18	2,991	3,234
名東	12	12	168	492	24	37	27	126	231	667
天白	12	36	78	159	74	108	21	79	185	382
合計	309	582	2,235	4,871	8,455	9,737	215	743	11,214	15,933

表3－5 精神保健福祉相談件数（分類別） （令和７年度）

保健センター名	実人員	延件数												
		社会復帰	高齢者精神保健	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計
千種	351	380	88	12	3	0	0	11	116	59	1	3	87	760
東	133	203	25	3	0	2	0	2	71	48	1	0	40	395
北	214	248	34	12	0	5	0	11	54	17	0	0	10	391
西	216	549	30	10	0	0	0	2	66	17	4	1	15	694
中村	444	739	32	11	0	1	0	28	117	46	1	8	55	1,038
中	89	133	10	4	0	0	0	2	24	17	0	0	31	221
昭和	56	14	8	9	0	0	0	6	54	19	1	0	10	121
瑞穂	93	84	10	0	0	0	0	5	31	12	0	1	11	154
熱田	159	180	28	0	4	0	0	13	77	23	1	0	9	335
中川	2,574	1,597	9	13	0	0	0	10	67	717	0	423	577	3,413
港	3,111	2,878	14	9	9	38	0	9	193	41	8	0	8	3,207
南	159	332	1	3	0	0	1	2	60	29	0	1	20	449
守山	208	338	20	5	0	0	0	11	74	20	1	1	2	472
緑	2,991	168	63	15	1	0	0	14	120	1,561	3	90	1,199	3,234
名東	231	84	33	10	20	1	0	4	43	127	2	1	342	667
天白	185	106	22	11	0	2	4	23	83	64	2	4	61	382
合計	11,214	8,033	427	127	37	49	5	153	1,250	2,817	25	533	2,477	15,933

表３－６ 精神保健福祉電話相談件数(職種別)　　（令和７年度）

保健センター名	嘱託医	精神保健福祉相談員	保健師	その他	計
千種	0	978	412	170	1,560
東	0	829	141	218	1,188
北	0	1,018	254	252	1,524
西	1	1,109	535	284	1,929
中村	0	1,890	280	67	2,237
中	0	799	257	324	1,380
昭和	0	486	29	92	607
瑞穂	1	970	296	33	1,300
熱田	0	416	53	175	644
中川	0	1,247	1,247	163	2,657
港	0	518	754	50	1,322
南	0	1,222	587	277	2,086
守山	0	822	310	202	1,334
緑	0	1,031	1,090	259	2,380
名東	0	1,032	181	547	1,760
天白	0	440	696	159	1,295
合計	2	14,807	7,122	3,272	25,203

表3－7 精神保健福祉電話相談件数(分類別)　　(令和７年度)

保健センター名	延件数												
	社会復帰	高齢者精神保健	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計
千種	463	256	29	24	1	1	22	243	272	15	9	225	1,560
東	750	50	7	0	6	0	9	159	87	0	0	120	1,188
北	972	125	18	1	10	1	21	210	110	0	0	56	1,524
西	1,230	56	22	0	0	1	11	230	198	4	7	170	1,929
中村	1,660	53	40	0	3	0	25	284	78	1	4	89	2,237
中	1,058	42	14	4	0	3	1	54	109	0	0	95	1,380
昭和	104	130	10	2	0	0	12	265	67	0	0	17	607
瑞穂	708	127	2	4	0	0	35	198	115	1	7	103	1,300
熱田	496	34	2	5	2	0	25	51	24	0	0	5	644
中川	587	46	10	1	1	0	26	374	360	5	16	1,231	2,657
港	285	93	12	29	3	0	6	507	226	2	4	155	1,322
南	1,267	67	84	7	1	0	16	328	135	6	3	172	2,086
守山	901	62	13	0	0	2	8	156	165	2	0	25	1,334
緑	968	143	70	1	1	2	55	269	409	109	30	323	2,380
名東	117	109	40	202	10	2	32	164	278	5	4	797	1,760
天白	212	80	29	11	3	0	32	172	347	3	15	391	1,295
合計	11,778	1,473	402	291	41	12	336	3,664	2,980	153	99	3,974	25,203

表3－8 精神保健福祉訪問援助件数（職種別）　（令和７年度）

保健センター名	嘱託医		精神保健福祉相談員		保健師		その他		計	
	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数	相談実人員	相談延件数
千種	0	0	77	197	65	130	4	32	146	359
東	0	0	35	137	44	99	9	46	88	282
北	0	0	73	168	79	106	1	30	153	304
西	0	0	49	210	106	196	10	55	165	461
中村	0	0	191	602	108	181	1	32	300	815
中	0	0	35	120	60	105	12	47	107	272
昭和	5	5	31	66	7	11	8	16	51	98
瑞穂	0	0	36	112	52	83	2	16	90	211
熱田	0	0	42	136	17	36	1	16	60	188
中川	0	0	63	216	166	347	4	12	233	575
港	0	0	45	99	104	221	3	7	152	327
南	0	0	30	88	94	220	4	35	128	343
守山	0	0	45	185	50	112	8	50	103	347
緑	0	1	47	129	195	301	10	52	252	483
名東	1	1	68	311	37	60	9	66	115	438
天白	0	0	50	115	169	272	19	40	238	427
合計	6	7	917	2,891	1,353	2,480	105	552	2,381	5,930

表3－9 精神保健福祉訪問援助件数(分類別)　　(令和7年度)

保健センター名	実人員	延件数												
		社会復帰	高齢者精神保健	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計
千種	146	121	55	3	8	0	0	0	58	51	2	6	55	359
東	88	128	17	0	0	0	0	8	38	44	1	3	43	282
北	153	151	21	7	0	0	0	5	47	53	0	0	20	304
西	165	231	17	5	0	0	0	2	66	80	0	2	58	461
中村	300	413	191	3	0	0	0	6	114	33	4	6	45	815
中	107	147	14	3	0	0	0	0	14	54	0	0	40	272
昭和	51	25	6	0	0	0	0	1	57	6	0	0	3	98
瑞穂	90	69	33	0	2	0	0	13	40	29	0	1	24	211
熱田	60	112	25	0	2	0	0	8	22	15	0	1	3	188
中川	233	145	2	2	2	0	0	16	74	111	2	1	220	575
港	152	98	9	5	3	0	0	7	106	81	3	2	13	327
南	128	124	7	11	1	0	8	19	62	33	1	0	77	343
守山	103	212	14	6	0	0	0	0	30	67	1	0	17	347
緑	252	143	21	11	0	0	3	16	116	99	0	19	55	483
名東	115	65	15	9	26	12	0	0	28	74	0	1	208	438
天白	238	96	14	1	0	0	0	15	44	144	1	6	106	427
合計	2,381	2,280	461	66	44	12	11	116	916	974	15	48	987	5,930

表3－10　精神保健福祉メール相談件数（分類別）

保健センター名	延件数												
	社会復帰	高齢者精神保健	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計
千種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
北	12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	13
西	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
中村	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
中	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
昭和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瑞穂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熱田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中川	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
港	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	10
南	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
守山	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
緑	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
名東	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
天白	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10
合計	86	0	0	0	0	0	0	20	2	0	0	0	108

表3－11　精神保健福祉相談・訪問援助延件数の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	7,525	8,377	12,487	13,522	15,933
電話相談延件数	26,716	26,148	25,018	23,961	25,203
訪問援助延件数	4,486	4,637	5,189	5,606	5,930
メール相談件数	88	66	81	113	108
合計	38,815	39,228	42,775	43,202	47,174

表3－12 こころの健康相談日の状況 （令和7年度）

保健センター名	開催回数	相談件数
千種	47	52
東	22	34
北	26	42
西	50	73
中村	20	21
中	17	24
昭和	21	7
瑞穂	48	23
熱田	37	60
中川	48	48
港	54	2
南	23	17
守山	17	24
緑	50	18
名東	48	12
天白	42	36
合計	570	493

表3－13 こころの健康相談日の推移

区分	3	4	5	6	7
開催回数	505	506	508	560	570
相談延件数	532	535	583	531	493

表3－14 精神保健福祉相談件数(再掲 ひきこもり) （令和7年度）

保健センター名	再掲 ひきこもり					
	相談		訪問		電話	メール
	実人員	延件数	実人員	延件数	延件数	延件数
千種	9	21	6	13	75	0
東	1	1	1	3	1	0
北	6	12	2	2	25	0
西	7	13	2	5	14	0
中村	0	0	1	1	0	0
中	1	1	2	3	1	0
昭和	1	2	0	0	2	0
瑞穂	1	1	1	3	42	0
熱田	2	10	0	0	17	0
中川	15	23	6	12	47	0
港	6	11	5	8	19	0
南	1	1	1	3	12	0
守山	6	12	1	1	3	0
緑	4	4	1	1	4	0
名東	1	4	0	0	11	0
天白	5	14	8	15	20	0
合計	66	130	37	70	293	0

表3－15 精神保健福祉相談件数(再掲 ひきこもり)の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	186	187	264	206	130
訪問延件数	155	128	200	181	70
電話延件数	756	596	664	540	293
メール延件数	6	2	7	12	0
合 計	1,103	913	1,135	939	493

表3－16 精神保健福祉相談件数(再掲 自殺関連) （令和７年度）

保健センター名	再掲 自殺関連					
	相談		訪問		電話	メール
	実人員	延件数	実人員	延件数	延件数	延件数
千種	44	60	1	12	126	0
東	0	0	4	7	0	0
北	1	2	1	1	0	0
西	17	23	0	7	21	0
中村	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	5	0
昭和	0	0	1	6	9	0
瑞穂	0	0	1	2	0	0
熱田	0	0	0	0	0	0
中川	4	5	2	2	23	0
港	8	8	0	0	8	0
南	0	0	0	0	0	0
守山	2	2	1	2	3	0
緑	26	31	1	2	57	0
名東	1	1	1	1	4	0
天白	0	1	6	5	35	0
合計	103	133	19	47	291	0

表3－17 精神保健福祉相談件数(再掲 自殺関連)の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	70	126	102	133	133
訪問延件数	24	21	40	43	47
電話延件数	160	279	340	278	291
メール延件数	1	1	0	0	0
合 計	255	427	482	454	471

表3－18 精神保健福祉相談件数(再掲 自死遺族) （令和７年度）

保健センター名	再掲 自死遺族					
	相談		訪問		電話	メール
	実人員	延件数	実人員	延件数	延件数	延相談
千種	0	0	0	0	0	0
東	0	0	0	0	0	0
北	0	0	0	0	0	0
西	0	0	0	0	0	0
中村	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	1	0
昭和	0	0	0	0	0	0
瑞穂	0	0	0	0	0	0
熱田	0	0	0	0	0	0
中川	0	0	0	0	0	0
港	0	0	0	0	0	0
南	0	0	0	0	0	0
守山	0	0	0	0	0	0
緑	0	0	0	0	1	0
名東	0	0	0	0	0	0
天白	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	2	0

表3－19 精神保健福祉相談件数(再掲 自死遺族)の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	5	3	3	1	0
訪問延件数	1	0	1	0	0
電話延件数	3	6	8	0	2
メール延件数	0	0	0	0	0
合 計	9	9	12	1	2

表3－20 精神保健福祉相談件数(再掲 犯罪被害) （令和７年度）

保健センター名	再掲 犯罪被害					
	相談		訪問		電話	メール
	実人員	延件数	実人員	延件数	延件数	延件数
千種	1	1	0	0	2	0
東	0	0	0	0	1	0
北	0	0	0	0	0	0
西	1	2	1	1	3	0
中村	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
昭和	0	0	0	0	28	4
瑞穂	0	0	0	0	0	0
熱田	0	0	0	0	0	0
中川	0	0	0	0	0	0
港	0	0	0	0	0	0
南	0	0	0	0	0	0
守山	0	0	0	0	0	0
緑	0	0	0	0	0	0
名東	0	0	0	0	4	0
天白	0	0	0	0	0	0
合計	2	3	1	1	38	4

表3－21 精神保健福祉相談件数(再掲 犯罪被害)の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	3	2	0	0	3
訪問延件数	0	2	2	2	1
電話延件数	1	3	5	15	38
メール延件数	0	0	2	0	4
合 計	4	7	9	17	46

表3－22 精神保健福祉相談件数(再掲 災害) （令和７年度）

保健センター名	再掲 災害					
	相談		訪問		電話	メール
	実人員	延件数	実人員	延件数	延件数	延件数
千種	0	0	0	0	0	0
東	0	0	0	0	0	0
北	0	0	0	0	0	0
西	0	0	0	0	0	0
中村	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
昭和	0	0	0	0	0	0
瑞穂	0	0	0	0	2	0
熱田	0	0	0	0	0	0
中川	0	0	0	0	0	0
港	0	0	0	0	0	0
南	0	0	0	0	0	0
守山	0	0	0	0	0	0
緑	0	0	1	1	3	0
名東	0	0	0	0	0	0
天白	2	2	0	0	2	0
合計	2	2	1	1	7	0

表3－23 精神保健福祉相談件数(再掲 災害)の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	1	9	7	2	2
訪問延件数	11	6	18	0	1
電話延件数	46	23	63	6	7
メール延件数	0	0	0	0	0
合 計	58	38	88	8	10

表3－24 精神保健福祉相談(再掲 発達障害) （令和７年度）

保健センター名	再掲 発達障害					
	相談		訪問		電話	メール
	実人員	延件数	実人員	延件数	延件数	延件数
千種	46	166	10	22	100	0
東	9	31	9	20	194	0
北	7	15	8	19	62	0
西	9	13	27	39	118	0
中村	35	50	22	28	105	0
中	13	41	17	35	158	27
昭和	1	4	2	17	56	0
瑞穂	4	8	19	23	151	0
熱田	3	19	1	10	34	0
中川	22	48	32	79	426	0
港	333	337	16	30	181	0
南	2	2	13	32	53	0
守山	9	11	3	8	33	0
緑	237	243	27	42	154	0
名東	23	88	20	57	284	0
天白	21	68	35	64	210	6
合計	774	1,144	261	525	2,319	33

表3－25 精神保健福祉相談(再掲 発達障害)の推移

区分	3	4	5	6	7
相談延件数	402	508	871	892	1,144
訪問延件数	308	316	450	597	525
電話延件数	1,734	1,665	2,113	2,339	2,319
メール延件数	38	4	9	15	33
合 計	2,482	2,493	3,443	3,843	4,021

表3－26 普及啓発の状況 （令和７年度）

保健センター名	地域住民への講演会等		うつ病に関する講演会等		精神障害者（家族）に対する教室等		うつ病に関する家族教室等		地域住民と精神障害者との地域交流		計	
	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数
千種	2	1,190	0	0	16	165	0	0	0	0	18	1,355
東	1	20	0	0	6	32	0	0	0	0	7	52
北	3	13	0	0	4	66	0	0	0	0	7	79
西	1	0	0	0	4	94	0	0	0	0	5	94
中村	6	668	0	0	0	0	0	0	0	0	6	668
中	2	185	0	0	13	71	0	0	0	0	15	256
昭和	1	155	0	0	4	21	0	0	0	0	5	176
瑞穂	5	1,266	0	0	2	26	0	0	0	0	7	1,292
熱田	4	86	0	0	4	54	0	0	0	0	8	140
中川	2	51	0	0	0	0	0	0	0	0	2	51
港	0	0	0	0	25	156	0	0	2	40	27	196
南	2	193	0	0	13	181	0	0	1	18	16	392
守山	0	0	0	0	6	40	0	0	0	0	6	40
緑	1	135	0	0	2	16	0	0	0	0	3	151
名東	2	155	0	0	6	25	0	0	0	0	8	180
天白	4	192	0	0	11	48	0	0	0	0	15	240
計	36	4,309	0	0	116	995	0	0	3	58	155	5,362

表3－27 普及啓発の推移

区分	3	4	5	6	7
開催回数	76	127	143	140	155
延人員	902	2,117	3,487	3,493	5,362

表3－28 組織育成の状況　　（令和７年度）

保健センター名	援助件数					
	患者会	家族会	依存症の自助団体・回復施設	職親会	その他	計
千種	0	10	0	0	22	32
東	0	0	0	0	0	0
北	0	0	0	0	0	0
西	0	1	0	0	2	3
中村	10	9	8	8	83	118
中	0	0	0	0	0	0
昭和	0	1	1	0	10	12
瑞穂	0	6	0	0	2	8
熱田	0	3	0	0	0	3
中川	0	1	7	0	13	21
港	0	0	0	0	0	0
南	0	1	0	0	0	1
守山	0	0	0	0	0	0
緑	0	0	0	0	0	0
名東	0	0	0	0	0	0
天白	0	0	0	0	0	0
計	10	32	16	8	132	198

表3－29 組織育成の推移

区分	3	4	5	6	7
支援件数	70	99	137	147	198

表3－30 連絡調整に関する会議 （令和７年度）

保健センター	保健センター主催	開催回数	参加機関・団体数		議事内容（延件数）					
				福祉関係機関(再掲)	基本的実施方針に関する事項	実施体制の確保に関する事項	サービス提供の指針に関する事項	事業評価に関する事項	その他	計
千種	主催	46	299	292	38	31	25	64	166	324
	その他	71	412	377	14	13	9	20	166	222
	計	117	711	669	52	44	34	84	332	546
東	主催	37	136	1	0	0	0	0	37	37
	その他	0	516	84	3	3	0	0	47	53
	計	37	652	85	3	3	0	0	84	90
北	主催	53	148	0	3	0	0	2	53	58
	その他	0	574	1	0	0	0	0	0	0
	計	53	722	1	3	0	0	2	53	58
西	主催	27	48	45	1	1	0	1	27	30
	その他	0	1,026	927	41	1	2	11	96	151
	計	27	1,074	972	42	2	2	12	123	181
中村	主催	69	167	40	81	49	78	2	4	214
	その他	0	870	313	140	151	219	17	11	538
	計	69	1,037	353	221	200	297	19	15	752
中	主催	47	168	156	10	9	1	0	47	67
	その他	0	811	749	80	72	2	3	84	241
	計	47	979	905	90	81	3	3	131	308
昭和	主催	25	66	5	15	11	9	2	10	47
	その他	0	30	21	4	4	3	3	1	15
	計	25	96	26	19	15	12	5	11	62
瑞穂	主催	5	13	12	0	0	0	0	4	4
	その他	0	838	824	0	0	0	0	78	78
	計	5	851	836	0	0	0	0	82	82
熱田	主催	13	53	26	13	0	2	0	2	17
	その他	0	666	305	73	0	0	0	1	74
	計	13	719	331	86	0	2	0	3	91
中川	主催	21	212	191	20	15	8	7	1	51
	その他	0	618	575	51	30	23	16	12	132
	計	21	830	766	71	45	31	23	13	183
港	主催	5	12	7	2	2	2	0	3	9
	その他	0	865	381	55	18	5	5	20	103
	計	5	877	388	57	20	7	5	23	112
南	主催	9	38	10	9	9	0	0	0	18
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	9	38	10	9	9	0	0	0	18
守山	主催	21	40	0	21	2	5	2	8	38
	その他	0	577	11	59	6	3	3	50	121
	計	21	617	11	80	8	8	5	58	159
緑	主催	36	78	68	36	36	33	8	3	116
	その他	0	38	30	6	6	6	0	2	20
	計	36	116	98	42	42	39	8	5	136
名東	主催	23	48	8	0	0	0	0	23	23
	その他	0	4	3	0	0	0	0	1	1
	計	23	52	11	0	0	0	0	24	24
天白	主催	5	23	13	5	5	5	5	5	25
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5	23	13	5	5	5	5	5	25
計	主催	442	1,549	874	254	170	168	93	393	1,078
	その他	1,225	11,068	6,131	727	500	361	127	847	2,562
	計	1,667	12,617	7,005	981	670	529	220	1,240	3,640

表3－31　連絡調整に関する会議の推移

区分	3	4	5	6	7
開催回数	315	903	1,425	1,545	1,667
参加機関・団体数	1,884	7,106	11,130	11,584	12,167

表3－32　精神保健福祉事例検討会の状況　（令和7年度）

開　催　日	事例提供	テ　ー　マ
令和7年5月14日(火)	守山保健センター	事例 「障害者虐待通報が複数回になったケースへの対応について」
令和7年7月8日(火)	瑞穂保健センター	事例「あなたならどうする？入院が必要と言われている人の対応」
	天白保健センター	事例「受診勧奨について(4ケース)」
令和7年9月9日(火)	昭和保健センター	事例 「危機介入時の訪問について」
令和7年11月11日(火)	西保健センター 守山保健センター	事例「関わりが定期的かつ長期に渡るケースの今後の展望について」
令和8年1月13日(火)	中村保健センター 港保健センター	事例「『犯罪という側面』と『治療の対象という側面』を併せ持つケースについて」
令和8年3月10日(火)	天白保健センター	事例「『カスタマーハラスメント』と『合理的配慮』の兼ね合いとは？」

表3－33 精神保健福祉業務研究会の状況　（令和 7 年度）

開 催 日	テ ー マ
令和 7 年 4 月 22 日(火)	1 異動者あいさつ 2 幹事会の引継ぎ 3 各種委員等の選出 4 精神保健福祉センターからの業務連絡 5 健康増進課からの業務連絡
令和 7 年 6 月 10 日(火)	1 相談員会会則の変更について 2 精神保健福祉業務報告について 3 勉強会(仮称)について（グループワーク） 4 健康増進課からの業務連絡 5 精神保健福祉センターからの業務連絡
令和 7 年 8 月 12 日(火)	1 情報提供(記録の書き方について) 2 意見交換(区の取り組みについて) 3 精神保健福祉事例集について 4 健康増進課からの業務連絡 5 精神保健福祉センターからの業務連絡 6 にも包括に係るモデル事業の検証について
令和 7 年 10 月 14 日(火)	1 健康増進課からの業務連絡 2 精神保健福祉センターからの業務連絡 3 精神保健福祉事例集について 4 精神保健福祉センターとの連携について 5 精神保健における DX 推進について(意見交換) 6 入院者訪問支援事業について 7 保健医療型アウトリーチ支援モデル事業ヒアリング
令和 7 年 12 月 9 日(火)	1 健康増進課からの業務連絡 2 精神保健福祉センターからの業務連絡 3 保健医療型アウトリーチ支援モデル事業について 4 「にも包括」の取り組みについて
令和 8 年 2 月 10 日(火)	1 健康増進課からの業務連絡 2 精神保健福祉センターからの業務連絡 3 「にも包括」の取り組みについて

（2）精神保健福祉センターここらぼ

表3－34　一般電話相談　（令和 7 年度）

実人員	延件数	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他
1,686	2,457	80	827	33	23	22	14	132	551	96	14	0	665

表3－35　一般電話相談の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	1,458	1,157	1,460	1,561	1,686
延件数	2,395	1,502	1,960	1,979	2,457

表3－36　来所相談　（令和 7 年度）

実人員	延件数	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他
29	29	1	14	0	2	0	0	3	2	3	0	0	4

表3－37　来所相談の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	21	20	15	22	29
延件数	22	21	20	26	29

表3－38　文書相談（FAX、メール等を含む）　（令和 7 年度）

実人員	延件数	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他
44	46	3	13	1	5	4	1	0	18	0	1	0	0

表3－39　文書相談の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	18	32	40	39	44
延件数	27	34	50	62	46

表3－40　一般予約相談　（令和 7 年度）

実人員	延件数	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他
42	59	0	0	7	3	40	0	0	9	0	0	0	0

表3－41　一般予約相談の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	72	77	53	61	42
延件数	79	86	72	63	59

表3－42　依存症相談窓口専用電話　（令和 7 年度）

区分	実人員	延件数	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他
合計	805	1252	9	19	254	91	345	31	5	264	1	4	0	229

表3－43　依存症相談窓口専用電話の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	580	637	709	713	805
延件数	1,032	1,059	959	1,163	1,252

※ 平成 30 年 7 月 2 日より事業開始。

表3－44　特定相談　（令和 7 年度）

区分	来所者性別	実人員	延件数
思春期	男	6	6
	女	39	39
	小計	45	45
依存症※1	男	32	32
	女	47	50
	小計	79	82
自死遺族	男	2	2
	女	3	3
	小計	5	5
ひきこもり	男	6	11
	女	11	12
	小計	17	23
司法書士※2	男	6	6
	女	1	1
	小計	7	7
合計	男	50	56
	女	102	106
	合計	153	162

※1 平成 29 年度まで薬物リハビリテーション相談として実施し、平成 30 年度に依存症相談拠点となった時点で依存症相談に変更した。

※2 令和3年度より通年での実施を開始。依存症相談窓口やひきこもり地域支援センターへの相談来所者が対象。

表3－45　特定相談の推移

年度		3	4	5	6	7
思春期	実人数	49	41	54	41	45
	延件数	53	43	55	43	45
依存症※1	実人数	76	83	79	83	79
	延件数	76	85	85	85	82
自死遺族	実人数	11	8	16	8	5
	延件数	12	9	18	9	5
ひきこもり	実人数	22	31	24	31	17
	延件数	22	31	31	31	23
司法書士※2	実人数	5	3	8	3	7
	延件数	13	3	9	3	7

※1 平成 29 年度まで薬物リハビリテーション相談として実施し、平成 30 年度に依存症相談拠点となった時点で依存症相談に変更した。

※2 令和 3 年度より開始。依存症相談窓口やひきこもり地域支援センターへの相談来所者が対象。

表3－46　こころの健康電話相談　（令和 7 年度）

実人員	延件数
839	1,719

表3－47　こころの健康電話相談の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	946	842	1,027	1,187	839
延件数	1,618	1,647	1,889	1,982	1,719

表3－48　家族教室（家族のつどい含む）　（令和 7 年度）

区分	回数	延人員
家族教室	41	657

※ひきこもりの家族教室、家族のつどいを含む。NAT-G は個別実施があるため一般予約相談に計上

表3－49　家族教室の推移（家族のつどい含む）

年度	3	4	5	6	7
回数	33	45	41	41	41
延人員	388	544	484	559	657

表3－50　普及啓発　（令和 7 年度）

区分	回数	延人員
普及啓発	4	2,703

表3－51 普及啓発の推移

年度	3	4	5	6	7
回数	4	4	4	4	4
延人員	7,789	2,479	4,298	2,565	2,703

表3－52 組織育成 （令和 7 年度）

区分	回数
組織育成	33

表3－53 組織育成の推移

年度	3	4	5	6	7
回数	17	28	30	36	33

表3－54 人材育成 （令和 7 年度）

区分	回数	延人員
人材育成	112	1,847

表3－55 人材育成の推移

年度	3	4	5	6	7
回数	49	59	97	94	112
延人員	604	898	1,272	1,748	1,847

表3－56 技術指導・技術援助 （令和 7 年度）

区分	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	その他	合計
保健センター	0	43	2	0	1	2	3	9	4	64
福祉事務所	0	9	0	0	1	0	1	1	0	12
市町村	0	47	0	4	3	1	1	1	15	72
医療施設	4	22	5	2	4	0	3	0	3	43
障害者支援施設	0	39	1	1	2	2	0	5	2	52
社会福祉施設	4	16	4	1	3	1	7	3	23	62
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	50	2	8	3	2	1	6	23	97
合計	10	226	14	16	17	8	16	25	70	402

表3－57 技術指導・技術援助の推移

年度	3	4	5	6	7
回数	178	330	346	313	402

表3－58 集団精神療法（なごやギャンブル障害トレーニングプログラム「NAT-G」） （令和 7 年度）

区分	実人員	実施延件数		
		集団	個別	計
男	31	73	0	73
女	1	2	0	2
合計	32	75	0	75

表3－59 集団精神療法（なごやギャンブル障害トレーニングプログラム「NAT-G」）の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	28	25	22	37	32
延人員	76	84	41	110	75

※ 令和 2 年度より事業開始。

表3－60 ひきこもり地域支援センター相談 （令和 7 年度）

区分	電話相談		来所相談	
	実人員	延件数	実人員	延件数
男	344	1,261	186	1,004
女	156	519	63	320
その他	20	25	1	1
合計	520	1,805	250	1,325

※相談対象者の性別で計上

表3－61 ひきこもり地域支援センター相談の推移

年度		3	4	5	6	7
電話相談	実人数	294	330	281	330	520
	延件数	972	1,526	1,808	1,526	1,805
来所相談	実人数	192	175	216	175	250
	延件数	848	855	1,113	855	1,325
出張相談	実人数	35	24	38	24	72
	延件数	103	75	122	75	209

※ 平成 24 年 5 月より事業開始。

表3－62 ひきこもり地域支援センター居場所利用 （令和 7 年度）

区分	実施回数	実人員	延人員
男	52	13	106
女		13	55
その他		0	0
合計	52	26	161

表3－63 ひきこもり地域支援センター居場所利用の推移

	6	7
実施回数	41	52
実人員	25	26
延人員	96	161

※ 令和 6 年 6 月より居場所開設。

（3）地域包括ケアシステムの構築推進

精神障害者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、地域住民の協力を得ながら本市域の地域保健医療福祉の一体的な取組を推進し、地域共生社会の実現に向けて、必要な調整を行う。

ア　保健、医療、福祉関係者の協議の場の開催

（ア）一人ひとりのネットワークづくり

一人ひとりの措置入院者につき合議体を開催し、退院後支援計画の策定等実施に係る調整を行った。

表3－64　措置入院者の退院後支援に係る状況

年度		3	4	5	6	7
支援対象者になりうる措置入院者（同意対象者）		65 人	94 人	84 人	86 人	90 人
支援対象者実数		121 人	138 人	147 人	169 人	119 人
内訳	今年度新規	58 人	57 人	55 人	57 人	49 人
	前年度継続	79 人	90 人	114 人	90 人	70 人
同意なし		23 人	44 人	29 人	63 人	24 人
支援期間終了者		30 人	41 人	40 人	42 人	28 人
次年度継続者		79 人	90 人	114 人	70 人	74 人
内訳	未同意	23 人	54 人	22 人	54 人	53 人
	アセスメント中	25 人	15 人	17 人	15 人	10 人
	計画作成中	21 人	30 人	20 人	30 人	3 人
	計画期間中	21 人	15 人	11 人	15 人	8 人

表3－65　措置入院者の退院後支援に係る合議体開催状況

年度		3	4	5	6	7
合議体開催回数		111 回	92 回	80 回	108 回	77 回
合議体参加機関数		延 488 機関	延 422 機関	延 342 機関	延 418 機関	延 315 機関
合議体の開催状況内訳	アセスメント前合議体	延 26 回	延 13 回	12 回	延 16 回	延 7 回
	アセスメント前合議体参加機関数	延 68 機関	延 53 機関	延 46 機関	延 55 機関	延 35 機関
	総合アセスメント合議体	延 33 回	延 28 回	延 27 回	延 27 回	延 9 回
	総合アセスメント合議体参加機関数	延 134 機関	延 106 機関	延 99 機関	延 77 機関	延 53 機関
	計画作成合議体	延 33 回	延 33 回	延 24 回	延 37 回	延 23 回
	計画作成合議体参加機関数	延 179 機関	延 164 機関	延 124 機関	延 153 機関	延 103 機関
	計画再調整合議体	延 0 回	延 3 回	延 4 回	延 6 回	延 5 回
	計画再調整合議体参加機関数	延 0 機関	延 15 機関	延 16 機関	延 46 機関	延 31 機関
	計画終了の合議体	延 19 回	延 15 回	延 13 回	延 22 回	延 33 回
	計画終了の合議体参加機関数	延 107 機関	延 84 機関	延 57 機関	延 87 機関	延 93 機関

※合議体及び参加機関数は延べ件数

（イ）地域ブロックのネットワークづくり

地域における支援者間の連絡調整のために、市内の 4 つの地域（表 3-63 表側参照）に応じて、その地域に関係する関係行政機関等を構成員として調整会議の名古屋市精神障害者支援地域ブロック調整会議を地域毎に開催した。

表3－66　名古屋市精神障害者支援地域ブロック調整会議開催状況

ブロック	区分	3 年度	4年度	5 年度	6 年度	7 年度
東ブロック（千種・中・昭和・名東）	開催回数	3 回	3 回	3 回	3 回	3 回
	参加機関数	延63機関	延47機関	延43機関	延51機関	延41機関
	1 回あたり平均参加機関数	21機関/回	15.6機関/回	14.3機関/回	17機関/回	13.6機関/回
	その他調整会議	8回	12回	6回	7回	9回
	その他調整会議参加機関数	延36機関	延59機関	延32機関	延59機関	延65機関
西ブロック（中村・熱田・中川・港）	開催回数	3回	3回	3回	3回	3 回
	参加機関数	延45機関	延44機関	延54機関	延63機関	延60機関
	1 回あたり平均参加機関数	15機関/回	14.6機関/回	18.0機関/回	21機関/回	20機関/回
	その他調整会議	41回	14回	14回	14回	14回
	その他調整会議参加機関数	延118機関	延56機関	延100機関	延55機関	延69機関
南ブロック（瑞穂・南・緑・天白）	開催回数	3回	3回	3回	3回	3 回
	参加機関数	延51機関	延51機関	延39機関	延51機関	延47機関
	1 回あたり平均参加機関数	17機関/回	17機関/回	13機関/回	17機関/回	15.6機関/回
	その他調整会議	15回	16回	15回	8回	6回
	その他調整会議参加機関数	延117機関	延84機関	延83機関	延84機関	延43機関
北ブロック（東・北・西・守山）	開催回数	3回	3回	3回	3回	3 回
	参加機関数	延60機関	延61機関	延63機関	延70機関	延65機関
	1 回あたり平均参加機関数	20機関/回	20.3機関/回	21機関/回	23.3機関/回	21.6機関/回
	その他調整会議	8回	10回	5回	5回	5回
	その他調整会議参加機関数	延47機関	延62機関	延30機関	延38機関	延43機関

表3－67　ブロックの取り組み　（令和 7 年度）

ブロック名	主な取り組み
東ブロック （千種・中・昭和・名東）	令和 7 年度の目標を、①病棟相談会の取り組みの質を高め、院内や地域の支援者に知ってもらい、にも包括の活動を広げる。②ピアサポーターの活躍の場を広げ、ピアサポーターと支援機関、病院をつなぐ仕組みを作る。③住住まいのガイドブックを活用していくとし、以下の取り組みを行った。 （1）ピアサポーター交流会との交流 （2）病棟相談会の意見を構成員みんなでだせるような仕組みづくりやよりよくするための議論 （3）病棟相談会を5回開催 （4）住まいのガイドブックの在り方について検討
西ブロック （中村・中川・熱田・港）	令和 7 年度は、①ピアサポート事業の活用、②家族の支援、③にも包括の普及啓発を目標とし、課題抽出を中心に取り組みを行った。 ブロック調整会議の内容は下記の通り。 （1）家族支援に関する取り組みの共有・地域課題の抽出 （2）にも包括ケアシステム構築支援事業における東海ブロック会議の参加報告 （3）地域移行支援の決定者数、長期入院者数推移等の課題整理 その他、院内相談会にてピアサポート活用事業、社会資源見学事業の利用、4区合同相談支援事業所学習会の開催。
南ブロック （瑞穂・南・緑・天白）	連携をテーマに、各区・各機関の取り組みについて共有し、相互理解を深めるとともに、各機関での取り組みに繋げていくことを目標に行った。 （1）ブロック調整会議における各機関の取組みや事業の共有 （2）「連携」について講義、事例を段階（フェーズ）にわけて、それぞれのフェーズにおける各機関の視点や困難さについて意見交換。（発症前後～入院まで） （3）第 2 回に続き、フェーズ（入院中～退院後の生活）について意見交換。全体を通して、抽出された内容を整理して検討。
北ブロック （東・北・西・守山）	ピアサポート活用事業の入院患者へ向けた活用の展開及び地域アセスメントと地域課題の抽出を取り組み目標とした。 (1)市や保健センター、ここらぼにおける取り組みを報告するとともに、グループワークで地域の支援機関同士の相互理解を図った。 (2)地域アセスメントと地域課題について、各区の状況を確認し意見交換を行った。 (3)ブロック内の精神科病院においてピアサポート活用事業を実施。ブロック調整会議にピアサポーターに出席してもらい、活動報告やリカバリーストーリーを発表。

表3－68　名古屋市精神障害者支援地域ブロック調整会議合同報告会

区分	3 年度	4年度	5年度	6 年度	7 年度
開催回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
参加機関数	延 44 機関	延 43 機関	延 47 機関	延 34 機関	延 34 機関

※　令和元年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を理由に中止。

（ウ）市域全体のネットワークづくり

名古屋市精神障害者支援地域調整会議を開催し、構成員の意見を聴取し、連絡調整を行った。

表3－69　名古屋市精神障害者支援地域調整会議開催状況

開催日	令和8年2月26日
会場	名古屋市公館　レセプションホール
議題等	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた取組みにおけるモデル事業の検証について
出席者数	22 人（21 機関）

表3－70　名古屋市精神障害者支援地域調整会議開催状況推移

	3 年度	4年度	5 年度	6 年度	7 年度
開催回数	1	1	1	1	1
参加機関数	27	25	22	19	21

イ 支援施策

（ア）ピアサポートの活用

各区の障害者基幹相談支援センターに委託して、精神障害者ピアサポーター及び精神障害者ピアサポーター支援者を登録し、登録したピアサポーターが自身の体験談等を直接伝えることを活用して、長期入院者等への退院の動機づけ及び地域住民や支援者等への普及啓発活動を実施した。

また、精神保健福祉センターこころぼにおいて、精神障害者ピアサポーターの養成等を行った。

表3－71 名古屋市精神障害者ピアサポーター活用事業 （令和7年度）

区	ピアサポーター派遣先数	実績数	ピアサポーター			ピアサポーター支援者		
			登録者数	実活動者数	延活動者数	登録者数	実活動者数	延活動者数
千種	8か所	11	7	4	9	1	1	2
東	3か所	8	10	3	4	5	1	4
北	7か所	11	31	10	11	0	0	0
西	36か所	99	30	24	55	10	5	44
中村	5か所	16	5	4	8	5	3	8
中	5か所	6	1	1	5	0	1	1
昭和	8か所	32	8	3	14	4	2	18
瑞穂	4か所	4	6	2	4	0	0	0
熱田	0か所	0	4	0	0	0	0	0
中川	13か所	16	4	4	14	1	1	2
港	2か所	5	11	3	3	3	2	2
南	0か所	0	1	0	0	1	0	0
守山	9か所	38	30	15	19	6	5	19
緑	3か所	11	8	6	10	2	1	1
名東	3か所	6	1	1	3	1	1	3
天白	0か所	0	2	0	0	0	0	0
合計	106か所	263	159	80	159	39	23	104

※ 派遣先数は、ピアサポーターが派遣された事業等の数。

※ 実績数は、派遣されたピアサポーター及びピアサポーター支援者の延数。

※ 実活動者数（登録者中実際に活動した者の実数）が登録者数（期末時点数）を上回ることがあるのは、期間中に登録者の異動が起きることがあるため。

表3－72 ピアサポーター派遣先数・実績数推移

		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
派遣先数		21か所	42か所	58か所	57か所	92か所	106か所
目的別内訳	動機付け	3か所	3か所	5か所	11か所	5か所	13か所
	普及啓発	39か所	55か所	52か所	81か所	52か所	93か所
実績数		42人	99人	155人	133人	242人	263人

表3－73　精神障害者ピアサポーター養成研修開催状況推移

年度	開催回数	受講者数	うちピアサポーター	うちピアサポーター支援者	備考
3	2 回	49 名	29 名	20 名	
4	3 回	66 名	32 名	34 名	講義編（オンライン）1 回 ・実践編 2 回実施
5	2 回	57 名	39 名	18 名	講義編（オンライン）1 回 ・実践編 1 回開催
6	2 回	58 名	40 名	18 名	講義編（オンライン）1 回 ・実践編 1 回開催
7	2 回	49 名	23 名	26 名	講義編 1 回 ・実践編 1 回開催

表3－74　精神障害者ピアサポーター養成研修修了者フォローアップ

年度	開催回数	参加者数	うちピアサポーター	うちピアサポーター支援者	備考
3	1 回	22 名	13 名	9 名	講義ならびに交流会
4	1 回	14 名	9 名	5 名	講義・グループワーク
5	1 回	14 名	7 名	7 名	講義ならびに交流会
6	1 回	6 名	3 名	3 名	講義ならびに交流会
7	1 回	12 名	5 名	7 名	講義ならびに交流会

（イ）精神障害者の家族支援

精神障害者の家族のピアサポートの力を活用し、精神障害者の家族を支援することを目的として、精神障害者の家族による精神障害者の家族を対象とした精神障害者の家族ピア相談事業及び精神障害者の家族同士の繋がりを深めるため精神障害者の家族を対象とした交流を図る精神障害者家族交流事業を合わせ、名古屋市精神障害者家族ピアサポート総合事業として、名古屋市精神障害者家族会連合会に委託して実施した。

表3－75　家族ピア相談事業実績

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
電話相談延件数	1,792 件	1,486 件	1,307 件	1,358 件	2,137 件
面談相談延件数	979 件	714 件	643 件	460 件	1,051 件

表3－76　精神障害者家族交流事業実績　（令和 7 年度）

開催日	場所	参加者数	事業内容
令和7年10月26日（日）	吹上ホール	195 名	事業名：晴ときどき虹 内容：オープニング（演奏会） 講演会「発達障害とニューロダイバーシティ」 講師：大村　豊　先生（平安通クリニック院長）

表3－77　精神疾患の基礎知識講座

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
開催回数	ー	6 回	5 回	7 回	3 回
参加者数	ー	295 名	203 名	304 名	189 名

※令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、中止。

表3－78　家族SST講座

【講師】 吉田　みゆき　氏　（同朋大学　社会福祉学部　教授）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
開催回数	7 回	10 回	9 回	9 回	10 回
参加者数	112 名	172 名	73 名	93 名	120 名

（ウ）入院中の精神障害者の地域生活支援

精神科病院に長期入院中の精神障害者に対し、移動用の車両を運行し、病院単位で居住施設や日中活動場所の社会資源を見学する機会を設けることにより、地域生活に対する不安を軽減し、地域生活への移行の動機づけを行った。

表3－79　名古屋市精神障害者社会資源見学事業

年度	回数	参加患者延数（利用病院実数）	見学箇所延数	半年後の状況（把握ができている参加者のみ）		
				退院者	地域移行利用決定者	地域移行利用見込者
3	8	23人（3病院）	延15か所	延 8 人	延 11 人	延 16 人
4	9	30人（3病院）	延17か所	延 9 人	延12 人	延 21 人
5	9	37人（3病院）	延21か所	延 5 人	延 7 人	延 9 人
6	8	35人（2病院）	延19か所	延 2 人	延 0 人	延 2 人
7	10	33人(3病院)	延18か所	延 2 人	延 2 人	延 12 人

（エ）精神障害者地域移行・地域定着支援職員研修

精神科病院、障害福祉サービス事業所、介護保険サービス事業所等の職員に対して、精神障害者の地域移行に関する保健・医療・福祉の相互理解を促進するために、標記研修を行った。

表3－80　精神障害者地域移行・地域定着支援職員研修開催状況推移

年度	名称	対象	開催回数	参加人数	備考
3	精神障害者地域移行関係職員研修	指定計画相談支援事業者等	4 回	延べ 96 名	動画視聴による開催
		精神科病院勤務看護師	中止	中止	
4	精神障害者地域移行関係職員研修	指定計画相談支援事業者等	1 回	延べ 73 名	
		精神科病院勤務看護師	1 回	延べ 22 名	
5	精神障害者地域移行関係職員研修	指定計画相談支援事業者等	1 回	延べ 60 名	
		精神科医療機関職員等	1 回	延べ 24 名	
6	精神障害者地域移行関係職員研修	指定計画相談支援事業者等	1 回	延べ 57 名	
		精神科医療機関職員等	1 回	延べ 27 名	
7	精神障害者地域移行関係職員研修	指定計画相談支援事業者等	1 回	延べ 55 名	
		精神科医療機関職員等	1 回	延べ 19 名	

※　精神科病院勤務看護師向けの研修は、日本精神科看護協会愛知支部と協力して実施。

※　地域ブロックで行っているものは、表 3-65 参照。

（オ）地域密着企画事業

各保健センターが地域づくりを行う地域ネットワークと協同し、地域住民、地域役員等に対し、精神障害等に関する普及啓発を実施する。また、ボランティア団体には精神障害等の関心を促し、ボランティアが障害特性を知る機会を設ける。これらの取組みにより、精神障害者等が地域で安心して暮らしやすくなることを目的とするもの。

表3－81 地域密着企画事業

事業名	内容	開催回数等
○精神保健福祉研修会 東保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 精神疾患の概要や実際の対応方法に関して、知識の普及と病気の理解を深める。 2　対象者 東区障害者自立支援連絡協議会に所属する構成機関等 3　開催日時 令和7年10月31日（金）13時00分～15時30分 4　実施内容 ①「ようこそ依存症の世界へ」～生きづらさと依存症～をテーマに講演会 ②ピアサポーター丹羽さんによる体験談 5　講師 ひぃりんぐ工房とぽす　西野敏夫氏、名古屋ダルク指導員	参加者 16名
○なごやかまつり・ひがし（東区区民まつり）への出展 東保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 多くの市民が集まる「なごやかまつり・ひがし（東区区民まつり）」において、こころの健康づくりに関する知識の普及啓発を行う。 2　開催日時 令和7年10月19日（日） 3　実施内容 保健センターブースにて、保健・栄養・薬・こころの健康にまつわるパネル展示とクイズの出題、参加賞として啓発グッズの配布、アンケートの実施	400名
○メンタルネットきた（自立支援連絡協議会　精神部会）　出前講座 北保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 北区内の支援者（障害福祉サービス事業所）を対象に、精神疾患についての講義や精神障害者ピアサポーター、家族等の話を通して、精神障害への理解の促進及び対応力の向上を図るもの。 2　対象者 北区内障害福祉サービス事業所等 3　開催日時 令和7年10月7日（火）13時30分～15時30分 4　実施内容 ①メンタルネットきたの説明②当事者の話（精神障害者ピアサポーター、名古屋ダルク）③家族の話④精神障害についての講義⑤質疑応答 ※ゲートキーパーハンドブック、高齢者の自殺予防ハンドブックを配布。 5　講師 北区障害者基幹相談支援センター、北区社会福祉協議会、精神障害者ピアサポーター、名古屋ダルク、カトレヤ会（家族会）、こころに寄り添うボランティア・かけはし、精神保健福祉相談員。	参加者 15名

○メンタルネットきた（自立支援連絡協議会　精神部会）　出前講座 北保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 民生委員・児童委員は及び地域支えあい事業ボランティアを対象に、精神疾患についての講義や精神障害者ピアサポーター、家族等の話を通して、精神障害への理解の促進を図り、普及啓発を行うもの。 2　対象者 北区光城学区地域支えあい事業ボランティア等 3　開催日時 令和8年3月9日（月）14時30分～16時 4　実施内容 ①メンタルネットきたの説明②当事者の話（精神障害者ピアサポーター、名古屋ダルク）③家族の話④精神障害についての講義⑤質疑応答 ※ゲートキーパーハンドブック、高齢者の自殺予防ハンドブックを配布。 5　講師 北区障害者基幹相談支援センター、北区社会福祉協議会、精神障害者ピアサポーター、名古屋ダルク、カトレヤ会（家族会）、こころに寄り添うボランティア・かけはし、精神保健福祉相談員	参加者数 9名
○こころの健康講演会 北保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 北区における自立支援医療（精神通院）受給者数（R5年度）のうち、F3コード（うつ病等の気分障害）の受給者数は市全体の平均と比較しても多い。適切な治療により治癒が可能であることを広めることは、精神疾患の患者の早期受診につながると同時に、精神障害に対する正しい理解を促進するためにも重要であることから、区民向けに「こころの健康」をテーマとした講演会を実施する。 2　対象者 原則北区在住・在勤・在学の方 3　開催日時 令和8年1月10日（土）13：30～16：00 4　実施内容 「振り回されない、他人の身勝手なフキハラ（不機嫌ハラスメント）に！～科学的根拠と対処法を知れば脳もごきげんに～」 5　講師 満倉　靖恵　氏　（慶応義塾大学教授）	参加者数 106名
○映画上映会 千種・中・昭和・名東保健センター合同（東ブロック）	1　目的・ねらい こうした状況を踏まえ、精神障害のある方が地域で自分らしく安心して暮らせる社会の実現に向けて、住民への普及啓発活動を強化する必要があると考えた。精神疾患を抱える本人だけでなく、その家族も悩みや葛藤を抱えながら対応していることを知り、地域で共感と支援の土壌が育まれるようになる。 2　対象者 市民、地域の支援者等 3　開催日 令和8年1月14日（水）13：30～16：00 4　実施内容 映画「どうすればよかったか？」の上映、精神科医によるミニ講話	参加人数 155名

○中村区まるごと支援プロジェクト（通称　むらごとプロジェクト）全体会 中村保健センター（西ブロック）	1　目的・ねらい 　中村区まるごと支援プロジェクト（通称　むらごとプロジェクト）は、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進の中村区版の取り組みとして、精神疾患と精神障害の普及啓発と関係機関のネットワーク構築を目的とした協議体。 2　対象者【構成員】 　仕事暮らし自立サポートセンター名駅、中村区北部いきいき支援センター、中村区南部いきいき支援センター、中村区障害者基幹相談支援センター、中村区社会福祉協議会、中村区福祉課、健康福祉局健康増進課、中村保健センター 3　開催日時 　第１回（6月25日）、第２回（10月30日）、第３回（1月28日） 4　実施内容 　むらごとプロジェクト全体会では、各ワーキングチームに全体の進捗状況報告、地域の精神保健福祉に関する課題の意見交換を実施。	各回の出席者数 第1回15名 第2回14名 第3回14名
○中村区まるごと支援プロジェクト－むらごとワーク－ 中村保健センター（西ブロック）	1　目的・ねらい 　精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進のために、地域の支援者の方々や若年者の方々に、精神障害を理解していただき精神障害者支援のための地域のネットワーク構築を進めることを目的に普及啓発を実施する。 2　対象者 　①同朋大学　社会福祉学科　２年生　学生 　②同朋大学　社会福祉学科　１年生　学生 3　開催場所・日時 　同朋大学　①11月6日（木）、②11月21日（金） 4　実施内容 ①ゲートキーパー養成研修（講義）、養成研修後ロールプレイング ②精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み 　・精神保健福祉業務と精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 　・事例紹介「精神的不調を抱え、友人と共に相談に来所したケース」 　・実は身近なメンタルヘルス（こころの健康）問題－グループワーク－ 5　講師 　①愛知県臨床心理士会所属　大塚　毬絵先生 　②５区保健センター精神保健福祉相談員（中、西、緑、港、中村）	参加者数 ①　12名 ②　25名
○中村区まるごと支援プロジェクト－むらごとネット－ 中村保健センター（西ブロック）	1　目的・ねらい 　中村区まるごと支援プロジェクト（通称　むらごとプロジェクト）は、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進の中村区版の取り組み。むらごとネットは、関係機関のネットワーク構築を目的としたワーキンググループ。 2　対象者 　中村区北部いきいき支援センター、中村区南部いきいき支援センター、中村区障害者基幹相談支援センター、中村区社会福祉協議会、中村保健センター、中村区自立支援連絡協議会に所属する事業所及びその職 3　開催日時 　令和7年11月13日（月）	参加者数 77名

	4　実施内容 　①講義「問題行動の奥にある人生の声（物語）～子どもの時代から読み解く支援のヒント～」 　②グループワーク 5　講師 　牧野小学校校長　小笠原仁先生	
○中村区まるごと支援プロジェクト－むらごとグッズ－ 中村保健センター（西ブロック）	1　目的・ねらい 　若年層に多く見られる自傷行為などの相談件数が多く、早期支援が重要となることから、区独自に作成した普及啓発物品「こころの絆創膏」を通して、セルフケアの促進と相談機関の周知を図るとともに、アンケートを通じてその効果を測定し、今後の支援活動に活かす。 2　対象者 　中村区内の市立中学生約2500名、普及啓発活動イベント参加者（全世代） 3　実施内容 　中村区内の市立中学校生とその他若年層を中心とした全世代に対して、中村区版こころの絆創膏「ひとりじゃないよ　おまもり」を配布。相談窓口の情報やQRコードを掲載し、セルフケアと相談機関へのアクセスを促進。同時に効果測定を行う。	若年者版 2,600部 全世代版 2,000部 合計で 4,600部
○精神障害者ピアサポーターと協働して行う、地域移行促進のための普及啓発活動 西保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 　精神障害者ピアサポーターと協働し、医療・福祉関係者や市民、当事者等にピアサポーターの活動の周知だけでなく、精神疾患をより身近に感じることのできるような取組みを行うことで、幅広い層の地域住民に普及啓発を行う。 2　対象者 　医療・福祉関係者や市民、当事者等 3　実施内容 　令和6年度に制作した動画に続き、ピアサポーターの日常の体験や率直な感情を中心に据えた構成で、精神障害を「特別なもの」ではなく、生活に根ざした身近なテーマとして受け止めやすい内容で作成。ピアサポーターの存在や活動意義を支援者や地域住民にわかりやすく伝えるツールとなった。本動画の本格的な活用は次年度以降を予定。	動画制作
○グラフィックレコーディング研修 熱田保健センター（西ブロック）	1　目的・ねらい 　失声症患者（身体表現性障害を含む）コミュニケーション代替手段として活用されるグラフィックレコーディングについて学ぶことで、対人不安、対人緊張からコミュニケーションに不安を抱えやすい精神疾患障害者への支援においても、支援者とのコミュニケーションの充実や関係促進等につなげる。 2　対象者 　区内の福祉関係機関職員 3　開催日時 　令和7年11月28日（金）13：30～16：30 4　実施内容 　グラフィックレコーディングについて講話とグループワークで実践的 5　講師 　中嶋　信恵　さん　（おでかけカンパニー）	参加者数 16名

○当事者向け健康づくり教室 熱田保健センター（西ブロック）	1　目的・ねらい 食事は生活リズムを整え、身体的・精神的な健康を支え、精神障害者のQOL（生活の質）を高めるためにも欠かせない。栄養に関する健康づくり教室を開催し、生活習慣病の予防や健康づくりの大切さを学び、自身の生活を振り返る機会とする。 2　対象者 精神障害者（当事者） 3　開催日時 令和7年12月9日（火）13：00～15：00 4　実施内容 ・保健センター管理栄養士により食事や栄養についての講話 ・試食（寒い朝の甘い焼き芋、ひき肉モヤシ炒め、イタリアンヌードル） ・個別相談	来場者数 26名
○ココロとカラダにやさしいコーヒー講座 南保健センター（南ブロック）	1　目的・ねらい 精神障害者地域活動支援センターで地域住民との交流の場をつくり、精神障害者当事者による事業所（基幹や地活）の紹介やグループ交流、保健センターの役割や説明を、こころの健康に関する普及啓発の機会とする。 2　対象者 地域活動支援センター利用者、地域住民 3　開催日時 令和7年11月17日（月）10時から12時 4　実施内容 ・コーヒー講座（参加者による体験やグループ交流など） ・コーヒーと心身の健康に関する講話（講師、保健センター職員から） 5　講師 鈴木英二　氏　（喫茶スーズ焙煎所）	参加者数 18名
○精神障害者ピアサポーター広報誌発行 守山保健センター（北ブロック）	1　目的・ねらい 精神障害に関する普及啓発 2　対象者 地域住民、福祉系大学・専門学校、精神科医療機関、福祉事業所など 3　実施内容 令和8年3月に広報誌の発行	広報誌 600部
○区民まつりでの普及啓発 瑞穂保健センター（南ブロック）	1　目的・ねらい 保健センターブースの来場者に就労継続支援事業所の作品や「こころの健康相談日」の案内を掲載した普及啓発物品を配布することで、地域住民に精神障害者の地域生活やこころの健康について知ってもらう機会とする。 2　開催日時 令和7年11月29日（土） 3　実施内容 瑞穂区民まつりの保健センターブースの来場者に対し、就労継続支援B型の作品を配布した。配布の際には、作品の紹介やこころの健康相談日の案内など来場者への声掛けを行った。	200名分

○血めぐり改善と良質な睡眠のための講座 昭和保健センター（東ブロック）	1　目的・ねらい 不眠等睡眠に悩みを持っている幅広い世代の区民に対し、地域密着企画事業・地域健康づくり事業が共同し、睡眠習慣の向上や、正しい知識の普及、参加者同士の交流により、区民の心身の健康増進に資することを目的とする。 2　開催日時 令和7年12月1日（月）9：30～11：30 3　実施内容 ・「血めぐり改善と睡眠習慣」講座 ・バスオイル制作や参加者同士の交流など 4　講師 大西　奈美枝、山田　紀子（花王グループカスタマーマーケティング株式会社） 飯田　紋子（AEAJ認定アロマテラピーインストラクター）	30名
○天むす会（天白区精神保健・福祉・医療をむすぶ会） 天白保健センター（南ブロック）	1　目的・ねらい 天白区域における精神障害者の福祉・保健・医療にかかわる関係機関が精神障害への理解を深め、意見を交わすことによって相互理解と連携を深める。 2　対象者 天白区域の保健・医療・福祉機関の担当者 3　開催日時 令和8年1月22日（木）　13:30～15：30 4　実施内容 ・講義「依存症とは？地域の医療機関の取組みを学ぼう」 5　講師 古川 優樹 先生　（一ツ山クリニック こころ・アディクションセンター）	21名
○講演会 瑞穂・南・緑・天白保健センター合同 （南ブロック）	1　目的・ねらい 若年層におけるメンタルヘルスの課題は多様化しており、若者との関係構築や対応には、若者の価値観や心理的背景を理解することが求められている。親世代と若者世代の文化や価値観の違いについて講演会を通して理解を深め、適切な声掛けや地域での支援体制の強化を図る。 2　対象者 保健センター職員、福祉・教育・医療機関の支援者、相談支援員、家族など 3　開催日時 令和8年1月29日（木）10：00～12：00 4　実施内容 講演 「ネット世代の若者の特徴と関わり方～今どきの若者の考え方や行動を読み解こう～ 」 5　講師 西川　絹恵　先生　（臨床心理士・公認心理士、社会福祉士）	参加者数 135名

（キ）心のサポーター養成研修

地域包括ケアシステム構築を進めるためには、地域住民等の理解や支えも重要であり、効果的な方法での普及啓発の実施が求められることから、厚生労働省はメンタルヘルス・ファーストエイドの考え方に基づいたメンタルヘルスの初期対応法を普及するプログラムを用いた「心のサポーター養成研修」を令和 3 年度から試行的に開始しました。本市においても地域において精神保健に理解のある住民等を増やすために令和 3 年度のモデル地域に応募し、採択されたため、厚生労働省との共催により「心のサポーター養成研修」を実施しています。

表3－82　心のサポーター養成研修事業実績

年度	開催回数	開催方法	定員	応募者数	受講修了者数
3	2 回	オンライン	40 名	166 名	38 名
4	4 回	会場 2 回 オンライン 2 回	180 名	117 名	86 名
5	8 回	会場 4 回 オンライン 4 回	440 名	627 名	328 名
6	11 回	会場 6 回 オンライン 5 回	1000 名 （会場 1 回分を除く）	682 名	573 名
7	19 回	会場 13 回 オンライン 5 回 ハイブリット 1 回	1000 名 （会場 8 回分、ハイブリット 1 回分を除く）	775 名	648 名

（ク）保健医療型アウトリーチ支援モデル事業

精神保健医療的な支援を必要としていながら、様々な理由で自ら支援を求めることができていない未治療・治療中断の状態にある方等（家族を含む）に対して、精神科医療機関と連携し、精神科医、精神保健福祉士、看護師などの多職種専門チームによるアウトリーチの相談支援を行うことで、個別支援を重点的に行うもの。（令和 4 年1月よりモデルブロックを 2 地域に増加。）

表3－83　保健医療型アウトリーチ支援モデル事業実績

区分		3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
新規対象者		3 名	5 名	8 名	3 名	1
支援継続対象者		0 名	3 名	2 名	1 名	1
支援終了者		8 名	2 名	9 名	4 名	1
支援内容内訳	家族等相談支援	延　13 回	延　11 回	延　20 回	延　9 回	延　0 回
	訪問支援	延　25 回	延　8 回	延　26 回	延　15 回	延　4 回
	紹介支援	延　1 回	延　0 回	延　3 回	延　0 回	延　0 回
事前調整中の者		0 名	0 名	0 名	3 名	2 名
備考		R4 年 1 月～ 2地域で実施	2 地域で実施	2 地域で実施	2 地域で実施	2 地域で実施

（ケ）居住体験支援モデル事業

退院後の住まいがないなど居住の確保に課題があり、退院が困難となっている措置入院者の退院後支援において、居住支援法人と連携して退院に向けて単身での居住環境を体験する場を提供するとともに、退院後の住まいの確保の支援を行うもの。（事業開始：令和3年10月）

表3－84　居住体験支援モデル事業に係る利用者数

担当区域	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
東ブロック（千種区・中区・昭和区・名東区）	1 名	0 名	1 名	―	0 名
南ブロック（瑞穂区・南区・緑区・天白区）	1 名	3 名	1 名	3 名	―
北ブロック（東区・北区・西区・守山区）	―	―	―	―	0 名

※実績は延人数であり、前年度からの継続ケースを含む

※令和 6 年度は南ブロックのみの実施

4 依存症対策

表4－1 依存症相談窓口専用電話 （令和 7 年度）

区分	実人員	延件数	高齢期	社会復帰	アルコール関連	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他
合計	805	1,252	9	19	254	91	345	31	5	264	1	4	0	229

表4－2 依存症相談窓口専用電話の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	580	637	709	713	805
延件数	1,032	1,059	959	1,163	1,252

※ 平成 30 年 7 月 2 日より事業を開始。

表4－3 特定相談 （令和 7 年度）

区分	性別	実人員	延人員
依存症※	男	32	32
	女	47	50
	小計	79	82

※ 平成 29 年度まで薬物リハビリテーション相談として実施し、平成 30 年度に依存症相談拠点となった時点で依存症相談に変更した。

表4－4 特定相談の推移

年度		3	4	5	6	7
依存症※	64	76	83	79	83	79
	67	76	85	85	85	82

※ 平成 29 年度まで薬物リハビリテーション相談として実施し、平成 30 年度に依存症相談拠点となった時点で依存症相談に変更した。

表4－5 集団精神療法（なごやギャンブル障害トレーニングプログラム「NAT-G」） （令和 7 年度）

区分	実人員	集団実施延件数	個別実施延件数	実施延件数
男	31	73	0	73
女	1	2	0	2
合計	32	75	0	75

表4－6 集団精神療法（なごやギャンブル障害トレーニングプログラム「NAT-G」）の推移

年度	3	4	5	6	7
実人員	28	25	22	37	32
延人員	76	84	41	110	75

※ 令和 2 年度より事業開始。

表4－7 依存症関連家族教室（家族のつどい含む） （令和 7 年度）

区分	回数	延人員
家族教室	18	239

表4－8 依存症関連家族教室の推移（家族のつどい含む）

年度	3	4	5	6	7
回数	20	20	18	18	18
延人員	213	259	174	174	239

表4－9 依存症関連普及啓発 （令和 7 年度）

区分	回数	延人員
普及啓発	2	837

※ 「依存症講演会」は当日講演の来場人数と後日 YouTube 配信（令和 6 年 12 月11日(水)から令和 7 年 3 月 31 日(月)）した視聴回数を計上。

表4－10 依存症関連普及啓発の推移

年度	3	4	5	6	7
回数	2	2	2	2	2
延人員	1,144	1,397	3,161	713	837

表4－11 依存症関連組織育成 （令和7年度）

区分	回数
組織育成	12

表4－12 依存症関連組織育成の推移

年度	3	4	5	6	7
回数	5	8	10	12	12

表4－13 依存症関連人材育成 （令和７年度）

区分	回数	延人員
人材育成	3	109

表4－14 依存症関連人材育成の推移

年度	3	4	5	6	7
回数	4	3	3	3	3
延人員	126	93	81	100	109

表4－15 依存症治療拠点機関及び依存症専門医療機関 （令和７年度末現在）

区分	アルコール	薬物	ギャンブル等
依存症治療拠点機関数	1	1	1
依存症専門医療機関数	5	3	2

5 自殺対策

表5－1 自殺者数及び自殺死亡率 【人口動態統計】 （令和 7 年 概数値）

区　分	男性	女性	合計
自殺者数	229	120	349
自殺死亡率	－	－	－

表5－2 年代別の自殺者数 【人口動態統計】 （令和 7 年 概数値）

区分	20 歳未満	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70 歳以上	合計
男性	7	28	33	39	46	26	50	229
女性	8	22	24	16	20	11	19	120
計	15	50	57	55	66	37	69	349

表5－3 自殺者数の推移 【人口動態統計】 （令和 7 年は概数値）

区分	3	4	5	6	7
男性	212	233	258	252	229
女性	127	128	111	101	120
合計	339	361	369	353	349

表5－4 自殺の原因・動機 【警察庁統計】 （令和 7 年）

家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳
78	286	137	69	20	24	40	4

※ 家族の証言等から自殺の原因・動機と考えられるものを 4 つまで計上。

表5－5 区別の自殺者の状況 【警察庁統計】 （令和 7 年）

千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
36	11	32	16	26	27	9	16	8	48	30	36	24	28	19	42	408

６ 附属機関及び各種会議

表６－１ 精神保健福祉審議会の状況 （令和７年度）

開 催 日	議 題 等
令和８年２月６日(金)	議題 (1)入院者訪問支援事業について (2)精神科病院における虐待防止について (3)夜間・休日における通報対応について

表６－２ 精神医療審査会の状況 （令和７年度）

合 議 体 数	委 員 数	全体会開催回数	合議延開催回数
５	42(17)	1	45

※「委員数」欄の( )内は予備委員数

表６－３ 自殺対策連絡協議会の状況 （令和７年度）

開催日	議題等
令和７年９月12日(金)	議題 (1)自殺の現状について (2)本市の自殺対策の取組みについて (3)今後の子ども・若者の自殺防止対策について (4)自殺予防週間(9月10日から16日)関連の取り組みについて (5)関係機関・民間団体の自殺対策の取組みについて

7　その他

表7－1　名古屋市精神保健福祉行政のあゆみ　（○…名古屋市　●…国　◎…愛知県　□…その他）

年	事　　項
昭和 40 年度以前	○　精神衛生法改正以前は精神普及活動と医療社会事業の一分野としてパートタイム医師による精神衛生相談を北、熱田保健所で実施
昭和 40 年度	○　精神衛生認識調査実施
	○　精神衛生指導科研修へ保健所長派遣
	●　精神衛生法改正
	□　第13回精神衛生全国大会（於：名古屋）
昭和 41 年度	○　u2型保健所（千種・北・中村・南）に精神衛生相談員及び精神科嘱託医を配置
	○　精神衛生相談日開催（毎週 1 回）
	○　訪問指導開始
	●　厚生省通知「保健所における精神衛生業務について」
	◎　精神衛生相談員資格取得講習会開催（～昭和 48 年）
昭和 42 年度	○　u3 型保健所（西・昭和・瑞穂・中川）に精神衛生相談員及び精神科嘱託医を配置
	○　精神衛生業務研究会開始
	○　精神衛生事例研究会開始（毎月）（～昭和 44 年）
	○　精神衛生相談記録使用開始
昭和 43 年度	○　東・中・熱田・港・守山・緑保健所に精神衛生相談員及び精神科嘱託医を配置
	○　精神衛生訪問指導業務指針
	○　精神衛生スライド、パネル製作
	○　精神障害者基礎票使用（～昭和 53 年）
	○　精神衛生事例集（～昭和 47 年）
昭和 44 年度	○　精神衛生地域別保健所協議会
	○　精神衛生技術者研修（社会福祉学科）へ精神衛生相談員派遣
昭和 45 年度	○　精神衛生事例研究会（隔月）発足
	○　自閉症相談（千種・西・中ブロック）（～昭和 61 年）
	○　精神衛生業務月報使用
	●　厚生省通知「精神衛生特別都市対策の推進について」発出
	□　名古屋精神障害者家族会発足
	□　名古屋断酒会発足
昭和 46 年度	○　精神衛生臨時（夜間）相談所開設
	○　精神衛生業務のてびき作成
	◎　精神衛生センター設立
昭和 47 年度	○　中部行政監察局、保健所衛生業務について勧告
昭和 48 年度	○　精神衛生実態調査中止
	○　精神衛生資料集
	●　精神衛生実態調査実施
	◎　精神衛生実態調査実施
	□　全国精神衛生大会中止
昭和 49 年度	◎　県通知「措置患者自己負担金援助費の支給について」発出
昭和 50 年度	○　名東・天白保健所に精神衛生相談員及び精神科嘱託医を配置
	○　市 3 ケ年短期計画、保健婦による精神障害者訪問指導の強化策定
	●　厚生省通知「保健所における精神衛生業務中の社会復帰指導について」発出
昭和 51 年度	○　精神衛生指導センター開設（あおばの里）（平成 7 年休止・平成 13 年廃止）
	○　保健所問題検討会精神衛生分科会答申
	○　中村・瑞穂・中川・南保健所で社会復帰相談指導事業開始
	●　厚生省通知「精神障害者措置入院制度の適正な運営について」

年	事　　項
昭和 52 年度	○　精神衛生事務管理要領策定検討
	○　市3ケ年短期計画に第 2 精神衛生指導センターの設置計画が登載
	◎　精神障害者社会復帰促進事業（職親制度実施）（～昭和 56 年）
	◎　精神衛生相談員資格取得講習会（～昭和 54 年）
昭和 53 年度	○　保健所精神衛生業務運営実施要綱策定検討
	○　第 2 精神衛生指導センター整備
	○　千種保健所で社会復帰相談指導事業開始
昭和 54 年度	○　精神衛生指導センター開設（わかばの里）（平成 13 年廃止）
	○　保健所精神衛生業務運営実施要綱策定
	○　西・昭和保健所で社会復帰相談指導事業開始
	○　精神障害者患者台帳使用
昭和 55 年度	○　精神衛生医療保護事務策定
	○　精神衛生パネル展
	□　全国精神衛生大会再開
昭和 56 年度	○　酒害予防対策実施要領策定
	○　健康増進市民のつどい（精神衛生）
	○　精神衛生一斉相談開始
	○　精神衛生パネル製作
	□　国際障害者年
昭和 57 年度	○　名古屋市国際障害者年長期計画策定
	○　港・守山保健所で精神障害者社会復帰相談指導事業開始
	◎　精神衛生職親制度（～昭和 62 年）
昭和 58 年度	○　北・緑・天白保健所で精神障害者社会復帰相談指導事業開始
	●　精神衛生実態調査実施
	●　厚生省通知「保健所における精神衛生業務中の老人精神衛生相談指導について」
	◎　精神衛生実態調査実施
	◎　精神衛生相談員資格取得講習会
昭和 59 年度	○　東・中・熱田保健所で精神障害者社会復帰相談指導事業開始
	●　厚生省通知「精神病院に対する指導監督等の強化徹底について」
昭和 60 年度	●　厚生省通知「精神病院入院患者の通信・面会に関するガイドライン」
昭和 61 年度	○　精神障害者小規模保護作業所助成要綱制定
	○　中村保健所に精神保健相談員配置（2 名体制）
昭和 62 年度	●　精神衛生法改正
	□　第 1 回愛知県精神保健大会
	□　中川精神障害者家族会発足
昭和 63 年度	○　精神保健業務研究会
	○　精神保健事例研究会
	○　精神保健相談日開催（毎週1回）
	○　精神保健相談記録使用
	○　精神保健業務月報使用
	○　精神保健資料集作成
	●　精神保健法施行
	◎　精神保健職親制度（～平成 11 年）
	□　こころの健康大会（～平成 8 年）
	□　愛知県精神保健協会発足
平成元年度	○　精神保健医療保護事務処理要領策定
	○　精神保健対策検討会

年	事　　項
平成 2 年度	○　家族交流会
	○　本庁に主査配置（2 名体制）
	○　障害の状態に関する証明書交付事業
	○　生計同一証明書交付事業
	□　とべ工房家族会発足
平成 3 年度	○　中川保健所に精神保健相談員配置（2 名体制）
	○　家族交流大会
	○　精神障害者交流事業（バスハイキング・卓球大会）（バスハイキング平成 14 年廃止）
	○　精神保健セミナー
	○　こころの健康講演会
	●　性に関する心の悩みの相談事業の実施
	□　北地域精神障害者家族会発足
	□　ちくさ家族会発足
平成 4 年度	○　港保健所に精神保健相談員配置（2 名体制）
	●　精神障害者地域生活援助事業（精神障害者グループホーム）実施
	□　守山精神障害者家族会発足
平成 5 年度	●　精神保健法の改正（平成 6.4 施行）
	●　心身障害者対策基本法の改正（障害者基本法の成立）（平成 6.12 施行）
	●　障害者対策に関する新長期計画策定
	□　みどり家族会発足
平成 6 年度	○　名古屋市精神保健対策検討会
	○　精神障害者小規模保護作業所指導員研修会
	○　名古屋市高齢者保健福祉計画策定
	○　名古屋市障害者福祉新長期計画（平成 6～15 年度）策定
	◎　休日・夜間等の精神科緊急医療体制
平成7年度	○　精神科デイケア検討会
	○　精神障害者保健福祉手帳制度の開始
	●　精神保健法の改正（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下「精神保健福祉法」という。）の成立）（平成 7.7 施行）
	●　「障害者プラン」（平成 8～14 年度）の策定（障害者対策推進本部）
	●　厚生省通知「地域精神保健福祉対策促進事業の実施について」
	□　やよい家族会発足
平成 8 年度	○　「精神保健福祉法」大都市特例施行
	○　精神保健福祉審議会設置
	○　精神医療審査会設置
	○　通院患者リハビリテーション事業開始
	○　精神保健職親制度開始（平成 11 年廃止）
	○　休日・夜間等の精神科緊急医療体制
	○　精神障害者福祉特別乗車券交付開始
	○　精神保健福祉センター業務検討会設置
平成 9 年度	○　「社会福祉事業法」大都市特例施行
	○　北・瑞穂・中川・天白保健所で、高齢期心の健康相談日開始（毎月 1 回）
	○　老人性痴呆疾患調査開始（～平成 11 年）
	○　生計同一・常時介護証明書交付事務
	●　地域保健法施行
	●　「精神保健福祉士法」公布（平成 10.4 施行）
	●　厚生省通知「精神病院に対する指導監督等の徹底について」

年	事　　項
平成 9 年度	□　こころの健康フェスティバルあいち
平成 10 年度	○　高齢期心の健康相談日（隔月 1 回）
	○　福祉向住宅優先入居募集
	●　精神障害者介護等支援専門員指導者養成研修
	□　名東家族会発足
平成 11 年度	○　精神障害者介護等支援専門員養成研修会
	○　精神障害者介護等支援サービス試行事業
	●　精神保健福祉法改正（平成 12.4 施行・平成 14.4 施行）
	□　名古屋市精神障害者家族会連合会発足
	□　しろとり会発足
平成 12 年度	○　名古屋市組織改正（民生局と衛生局を統合し健康福祉局を設置。障害福祉課に旧衛生局保健予防課の精神保健福祉担当を統合し、精神保健福祉担当主幹、精神保健福祉係を新設）
	○　社会適応訓練事業開始（通院患者リハビリテーション事業より名称変更）
	○　精神障害者ホームヘルプサービス試行的事業開始
	○　外国人精神障害者給付金事業開始
	○　精神保健福祉センター開設
	●　社会福祉の増進のための社会福祉事業法等の一部を改正する等の法律（現社会福祉法等）の公布（平成 12.6 施行）
	□　よつ葉家族会発足
	□　昭和家族会発足
平成 13 年度	○　精神科救急医療対策事業
	○　精神保健福祉市民活動セミナー（精神保健福祉セミナーより名称変更）
	○　社会復帰施設職員研修
平成 14 年度	○　精神障害者ホームヘルプサービス事業を全区で本格実施
	○　精神医療審査会及び公費負担・手帳判定事務を精神保健福祉センターに移管
	○　精神保健福祉基礎調査実施
	○　「健康なごやプラン 21」（平成 15～24 年度）策定
平成 15 年度	○　精神科救急情報センター設置
	●　「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」制定（平成 17.4 施
	□　行）
平成 16 年度	○　かもめ会発足
	○　守山保健所に精神保健福祉相談員配置（2 名体制）
	○　「名古屋市障害者基本計画（平成 16～25 年度）」策定
	○　障害者･高齢者権利擁護センター北部事務所開設
	○　障害者医療助成制度に精神障害者保健福祉手帳 1 級所持者を対象
	●　精神障害者交流事業（ハートウォーミングコンサート）を開始
	●　「障害者基本法」改正（平成 16.6 施行）
	●　「発達障害者支援法」公布（平成 17.4 施行）
	●　「精神保健医療福祉の改革ビジョン」発表
	◎　「今後の障害保健福祉施策もついて（改革のグランドデザイン案）」発表
平成 17 年度	○　愛知県精神障害者スポーツ大会（バレーボール大会）開催
	●　障害者自立支援法施行準備事務
	●　「障害者自立支援法」公布（平成 18.4 施行）※一部公布日施行・平成 18.10 施行
	□　「精神保健福祉法」改正（平成 18.4 施行）※一部公布日施行・平成 18.10 施行
平成 18 年度	○　全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック地区予選会（精神障害者バレーボール大会）
	○　名古屋市組織改正（子ども青少年局を新設。障害福祉部を再編し、障害企画課及び障害者支援課を設置）緑保健所に精神保健福祉相談員配置（2 名体制）
	○　障害程度区分認定審査会

年	事　　項
平成 18 年度	○　障害福祉サービス
	○　障害者地域生活支援センター(主に精神障害者を対象)を設置
	○　日常生活用具給付事業
	○　思春期・ひきこもりEメール相談研究事業
	○　「精神科病院に入院中の任意入院者に係る症状等の定期的な報告に関する条例」制定・施行
	○　精神保健福祉センターの愛称「ここらぼ」を選定
	○　「名古屋市第 1 期障害福祉計画(平成 18～20 年度)」策定
	●　「自殺対策基本法」公布(平成 18.10 施行)
	●　「精神保健福祉法施行規則」改正(平成 18.10 施行)　※手帳様式に写真貼付欄
平成 19 年度	●　「精神病院の用語の整理等のための関係法律の一部を改正する法律」公布(平成 18.12 施行)　※「精神病院」を「精神科病院」に改める
	◎　「愛知県第 1 期障害福祉計画(平成 18～20 年度)」策定
	○　「自殺対策に関すること」を障害企画課精神保健福祉係の分掌事務に追加
	○　千種保健所に精神保健福祉相談員配置(2 名体制)
	○　「名古屋市自殺対策推進本部・名古屋市自殺対策連絡協議会」設置
	●　「自殺総合対策大綱」閣議決定
平成 20 年度	○　北・南保健所に精神保健福祉相談員配置(2 名体制)
	○　障害者医療助成制度の対象を精神障害者保健福祉手帳 2 級所持者に拡大
	○　精神障害者地域定着支援事業
	○　「名古屋市第 2 期障害福祉計画(平成 21～23 年度)」策定
	◎　「愛知県第 2 期障害福祉計画(平成 21～23 年度)」策定
平成 21 年度	○　重度障害者タクシー料金助成事業
	●　障害者自立支援法施行後 3 年の見直し
	●　「地域自殺対策緊急強化基金」造成
	◎　「愛知県地域自殺対策緊急強化基金」造成
	□　名古屋市精神障害者家族会連合会設立 10 周年
平成 22 年度	○　天白保健所に精神保健福祉相談員配置(2 名体制)
	○　自立支援配食サービス事業を精神障害者保健福祉手帳所持者に拡大
平成 23 年度	○　障害企画課に主査(いのちの支援)を設置
	○　名東保健所に精神保健福祉相談員配置(2 名体制)
	○　精神保健福祉センター業務検討会設置　※開設 10 年契機
	○　家族ピア相談事業
平成 24 年度	○　精神保健福祉センター組織改編
	○　地域自殺予防情報センター設置(平成 28 年廃止)
	○　ひきこもり地域支援センター開設
	●　「地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律」公布(平成 25.4 施行)※一部平成 26.4 施行
	○　障害企画課に主幹(いのちの支援)を設置(平成 24 年 9 月)
	○　「名古屋市第 3 期障害福祉計画(平成 24～26 年度)」策定
	●　「自殺総合対策大綱～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して～」閣議決定
	◎　「愛知県第 3 期障害福祉計画(平成 24～26 年度)」策定
	○　「健康なごやプラン 21(第 2 次)」(平成 25～34 年度)策定(平成 25 年 3 月)
平成 25 年度	○　西保健所に精神保健福祉相談員配置(2 名体制)
	●　「精神保健福祉法」改正(平成 26.4 施行)※一部平成 28.4 施行
	●　「障害者差別解消法」公布(平成 28.4 施行)
	●　アルコール健康障害対策基本法公布(平成 25 年 12 月)(平成 26 年 6 月施行)
	○　「名古屋市障害者基本計画(第 3 次)」(平成 26～30 年度)策定
	○　「名古屋市第 4 期障害福祉計画(平成 27～29 年度)」策定
	◎　「愛知県第 4 期障害福祉計画(平成 27～29 年度)」策定

年	事　　項
平成 26 年度	○　障害者基幹相談支援センター設置
	●　「自殺対策基本法の一部を改正する法律」公布（平成 28.4 施行）
平成 27 年度	●　薬物依存のある刑務所出所者等の支援に関する地域連携ガイドライン（平成 27 年 11 月発出）
	○　地域自殺対策推進センター設置
平成 28 年度	●　アルコール健康障害対策推進基本計画（平成 28～32 年度）策定（平成 28 年 5 月）
	●　「ニッポン一億総活躍プラン」（平成 28 年 6 月閣議決定）における「地域共生社会の実現」掲出
	●　「地域共生社会」の実現に向けて（当面の改革工程）」（平成 29 年 2 月）
	●　「自殺総合対策大綱～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して～」閣議決定
平成 29 年度	◎　「愛知県アルコール健康障害対策推進計画（平成 29～34 年度）」策定
	●　「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の実施について」発出（平成 29 年 4 月）
	○　「名古屋市第 5 期障害福祉計画・第 1 期障害児福祉計画（平成 30～32 年度）」策定（平成 30 年 3 月）
	◎　「愛知県第 5 期障害福祉計画（平成 30～32 年度）」策定（平成 30 年 3 月）
	◎　「愛知県地域保健医療計画（平成 30～35 年度）公示（平成 30 年 3 月）
	●　「「措置入院の運用に関するガイドライン」について」発出（平成30年3月）
	●　「「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」について」発出（平成30年3月）
平成 30 年度	○　名古屋市組織改正（名古屋市保健所新設。1 保健所 16 保健所支所体制に変更に伴い、従前の「保健所」は「保健センター」に名称変更。）
	○　昭和保健センターに精神保健福祉相談員配置（2 名体制）
	○　名古屋市における精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進要綱制定（平成 30 年 4 月）
	○　措置入院者の退院後支援開始(平成 30 年 4 月要綱改正)
	○　各保健センター分室に精神・難病等窓口開設（自立支援医療費、障害者手帳等の窓口設置）（平成 30 年 5 月 7 日）
	○　精神保健福祉センターに「依存症相談窓口」開設（平成 30 年 7 月）
	●　ギャンブル等依存症対策基本法制定（平成 30 年 7 月）（平成 30 年 10 月施行）
	○　依存症関連問題支援事業補助金交付開始（平成 30 年 8 月要綱制定）
	○　依存症専門医療機関・依存症治療拠点機関選定開始（平成 30 年 8 月要綱制定）
	◎　愛知県警察本部による精神保健福祉法第 47 条に係る相談連絡票の運用開始（平成 30 年 10 月）
	○　いのちの支援なごやプラン（名古屋市自殺対策総合計画）（平成 30～34 年度）策定（平成 30 年 12 月）
	○　名古屋市障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消推進条例制定（平成 30 年 12 月）
	○　名古屋市障害者基本計画（第 4 次）（平成 31～35 年度）策定（平成 31 年 3 月）
平成 31 年度	○　瑞穂保健センターに精神保健福祉相談員配置（2 名体制）
（令和元年度）	●　ギャンブル等依存症対策基本計画閣議決定（平成 31 年 4 月）
	○　保健センター庁舎と区役所庁が別庁舎の区役所福祉課隣に保健予防課（区役所内窓口）設置（自立支援医療費、障害者手帳等の窓口・執務場所の移動）（令和元年 5 月 7 日）
	○　精神障害者社会見学事業開始（令和元年 6 月要綱制定）
	○　精神障害者住環境整備試行事業開始（令和元年 6 月要綱制定）
令和 2 年度	◎　愛知県ギャンブル依存症等対策推進計画策定（令和 2～5 年度）（令和 2 年 3 月）
	○　名古屋市組織改正（障害福祉窓口一元化により自立支援医療費、障害者手帳等の精神障害者福祉に関する事務を保健センターから区福祉課又は支所区民福祉課に移管。精神保健福祉相談員は引き続き保健センターに配置（全保健センター1 名体制）。併せて主管課においても主幹（精神保健福祉）及び主幹（いのちの支援）を廃し、主幹（精神保健・いのちの支援）を設置するとともに主幹（精神障害者福祉）を兼務。また、精神保健に関する事務を障害福祉部障害企画課から健康部健康増進課に移管。）
	○　保健センターにおいて精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進の一環として普及啓発・ボランティア育成事業、健康づくり事業開始
	○　精神保健福祉センターここらぼにおいてうつ病のリワークプログラムを終了し、なごやギャンブル障害回復トレーニングプログラム（NAT-G）開始
	○　精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進の一環として構築推進サポーターを各地域ブロックに 1 名選定（令和 2 年 7 月）
	○　名古屋市保健医療型アウトリーチ支援モデル事業開始（令和 2 年 10 月）

年	事　　項
	○　名古屋市第 6 期障害福祉計画・第 2 期障害児福祉計画（令和 3～5 年度）策定（令和 3 年 3 月）
	◎　あいち障害者福祉プラン 2021-2026 策定（令和 3 年 3 月）
	●　アルコール健康障害対策推進基本計画（第 2 期）（令和 3～7 年度）策定（令和 3 年 3 月）
令和 3 年度	○　名古屋市精神障害者住環境整備試行事業を廃止し、名古屋市障害者住宅改造補助事業の対象を精神障害者にも拡大（令和 3 年 4 月）
	○　保健センターにおける普及啓発・ボランティア育成事業、健康づくり事業を地域密着企画事業に改編
	○　名古屋市精神障害者居住体験支援モデル事業開始（令和 3 年 10 月）
	○　心のサポーター養成研修実施（令和 4 年 2 月）
	◎　愛知県保健医療計画（平成 30 年 3 月策定）中間見直し（令和 4 年 3 月）
	●　ギャンブル等依存症対策基本計画（変更）閣議決定（令和 4 年 3 月）
	○　名古屋市再犯防止推進計画策定（令和 4 年 3 月）
令和 4 年度	○　夜間・休日における警察官通報等の対応体制の運用開始（令和 4 年 7 月）
	●　「自殺総合対策大綱～誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して～」閣議決定（R4 年 10 月）
	●　「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律」（精神保健福祉法の一部改正を含む）（令和 4 年 12 月公布。令和 5.4 施行、令和 6. 4 施行）
	○　いのちの支援なごやプラン（第 2 次）策定（令和 5 年 3 月）
	◎　第 2 期愛知県ギャンブル等依存症対策推進計画策定（令和 5 年 3 月）
令和 5 年度	○　ひきこもり支援に関する所管を健康増進課から地域ケア推進課に移管（令和 5 年 4 月）
	○　愛知県とともに精神科救急情報センターの機能拡充開始（令和 5 年 4 月）
	○　愛知県とともに精神科救急医療施設を当番病院、後方支援機関病院（優先病院）、後方支援機関病院（補完病院）に機能分化し、原則自発診療と非自発診療の別による役割分担開始（令和 5 年 6 月）
	○　名古屋市 SNS 地域連携包括支援事業開始（令和 5 年 10 月）
	○　名古屋市ひきこもり地域支援センター金山開設（令和 5 年 10 月）
	◎　第 2 期愛知県アルコール健康障害対策推進計画（令和 6～9 年度）策定（令和 6 年 3 月）
	○　なごや障害児者福祉プラン（名古屋市障害者基本計画（第 5 次）、第 7 期名古屋市障害福祉計画・第 3 期名古屋市障害児福祉計画）策定（令和 6 年 3 月）
	◎　あいち障害者福祉プラン 2021-2026 改定（令和 6 年 3 月）
	◎　愛知県地域保健医療計画（令和 6～11 年度）公示（令和 6 年 3 月）
令和 6 年度	○　健康なごやプラン 21（第 3 次）（令和 6～17 年度）策定（令和 6 年 3 月）
	○　名古屋市組織改正（組織の最小単位の拡大等による改正により、主管課において主幹（精神保健・いのちの支援）、精神保健係長及び主査（いのち支援）を廃し、担当課長（精神保健・いのちの支援）、課長補佐（精神保健担当）及び課長補佐（いのちの支援）を設置。また、保健センター保健予防課に課長補佐（精神保健・健康づくり担当）を設置。）
	○　依存症専門医療機関開設支援事業補助金交付開始（令和 6 年 6 月要綱制定）
	□　名古屋市精神障害者家族会連合会 25 周年
	●　ひきこもり支援ハンドブック～寄り添うための羅針盤～（令和 7 年 1 月）
	○　名古屋市ひきこもり支援方針策定（令和 7 年 3 月）
	●　ギャンブル等依存症対策基本計画（変更）閣議決定（令和 7 年 3 月）
	○　子ども・若者の自殺危機対応チームの設置（令和 6 年 10 月）
令和 7 年度	○　ひきこもり支援に関する所管を地域ケア推進課から地域共生推進課に移管（令和 7 年 4 月）
	○　中村保健センターに精神保健福祉相談員配置（2 名体制）
	○　名古屋市入院者訪問支援事業開始（令和 7 年 10 月）
	●　「自殺対策基本法の一部を改正する法律」（令和 7.12 施行、令和 8.4 施行）

名古屋市における精神保健福祉

― 資料集 ―

2026

発　　行　　名古屋市健康福祉局
編　　集　　名古屋市健康福祉局健康部健康増進課
〒460-8508　名古屋市中区三の丸三丁目１番１号
電　話　052-291-4764　／　ファックス 052-291-4793
発 行 日　　令和８年９月